

取扱説明書

AV 一体型 HDD ナビゲーション

AVIC-ZH07

お買い上げいただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
- ▶ 本機の取扱方法に関する情報は、パソコンや携帯電話からお調べいただくこともできます。詳しくは 4～5 ページをご覧ください。

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタジオ

オプション品

困ったときは

付録

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地名検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

運転中に画像を注視しない



運転者は運転中に、画像を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させて、サイドブレーキをかけてください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

異常のまま使用しない



万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意

【使用方法】

モニター部にヒーターの熱などを当てない



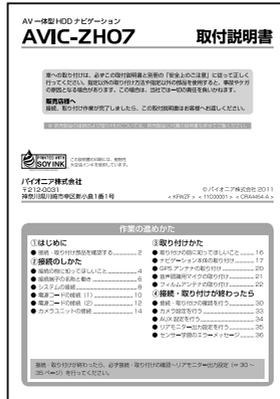
モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

はじめに

本製品は、環境保護の観点から紙資源の使用量を見直し、いろいろな媒体を通して取り扱い情報を調べることができるようになっています。

取付説明書

製品に同梱されている説明書です。取り付けや接続を行うときにお読みください。機器構成の説明や他の機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



取扱説明書（本書）

製品に同梱されている説明書です。本機を使い始める前に、必ずお読みください。本機をご購入後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、ナビゲーション、オーディオなどの基本的な使いかたを説明しています。また、PCリンクソフト「ナビスタジオ」や本機と組み合わせ可能なオプション品の紹介、困ったときの対処方法なども説明しています。



ユーザーズガイド

お客様の利用シーンなどにあわせて、知りたい情報を詳しく知ることができるマニュアルです。ユーザーズガイド閲覧時の通信料は、お客様のご負担となります。また、掲載内容は、予告なく変更される場合があります。

■ユーザーズガイド（WEB版）

パソコンを使って閲覧することができます。インターネットに接続可能なパソコンから、下記URLを入力してアクセスしてください。（スマートフォンでの閲覧も可能です。）

<http://pioneer.jp/support/manual/navi/11cyber/>



■ユーザーズガイド（ケータイ版）



携帯電話を使って閲覧することができます。バーコードリーダー対応携帯電話から、下記QRコードを読み取るか、下記URLを入力してアクセスしてください。



<http://mobi.pioneer.jp/support/manual/navi/11cyber/>

※機種によっては、QRコードが読み込みできない場合があります。

■ユーザーズガイド（PDF版）

ユーザーズガイドをPDF形式で閲覧・ダウンロードすることができます。

■ユーザーズガイド（製本版）

ユーザーズガイドを製本した印刷物として有償販売いたします。購入をご希望される場合には、裏表紙に記載の「部品受注センター」へお問い合わせください。（ご注文の際、「CXX3669」とお伝えいただくとスムーズです。）

目次

お使いになる前に

ご使用前に知っておいていただきたいこと	10
マイセットアップをしよう	14
マイセットアップをはじめる.....	14
テレビを見るための準備をしよう	17
miniB-CASカードを取り外すときは	19
自宅を登録しよう	20
お客様登録(無料)をしよう	21
本機の通信機能を使って登録する.....	21
インターネットを利用して登録する	24

基本操作

本機の基本操作を覚えよう	25
各部の名称とおもな働き	25
ナビゲーションの電源について.....	27
ディスクの入れかた・取り出しかた	27
SDカードの入れかた・取り外しかた.....	29
画面の操作.....	31
モニターの角度を調整する	33
ナビゲーションの音量を調整する.....	33
オーディオの音量を調整する.....	34
C(カスタム) ボタンの操作.....	35
メニューの操作を覚えよう	36
セントラルメニューを表示させる.....	36
メニュー操作の流れ.....	40
リスト画面の操作を覚えよう.....	42
基本的なリストの操作	42
その他のリスト操作.....	42

ナビゲーション

地図を操作してみよう	44
現在地画面を表示させる	44
地図の動かし方	45
地図を広域・詳細にする	47
地図の向きを変える	48
ビューモードを切り換える	48
ターゲットマップを設定する	49
ショートカットメニューを使ってみよう	50
目的地を探してルート案内してみよう	51
ルート案内中の画面	53
ルート案内中の操作	55

オーディオ

音楽や映像を楽しもう	57
AVソースを切り換える	57
AVソースをOFFにする	58
AVソースを操作する	58
ソース別設定を行う	59
オーディオ設定をしてみよう	61
オーディオ設定の設定項目一覧	62
再生できるファイルとメディアの種類	63

スマートループ

スマートループを利用してみよう	65
スマートループ渋滞情報を利用するために必要なこと	65
通信機器を準備する	65
携帯電話を登録する	66
スマートループ設定をする	67
スマートループ渋滞情報の取得のしかた	70

音声操作

音声操作を試みよう	71
音声操作の設定をする	71
音声操作をする	72

ハンズフリー

ハンズフリーを試みよう	73
携帯電話を登録する	73
ハンズフリーをする	74

ナビスタジオ

ナビスタジオを試みよう	76
動作環境について	76
ナビスタジオのセットアップについて	76
SDカードを本機に登録する	77
ナビスタジオを使ってできること	78

オプション品

オプション品を使って本機をより楽しもう	79
---------------------------	----

困ったときは

故障かな？と思ったら	81
共通項目	81
ナビゲーション	83
オーディオ共通項目	85
FM/AM	86
DVD	87
CD、ROM (WMA/MP3/AAC)	89
MSV (ミュージックサーバー)	90
地上デジタルテレビ	91
SD/USB	92
iPod	93
Bluetooth Audio	94
リアモニター	94

エラーメッセージと対処方法.....	95
共通項目	95
ナビゲーション.....	95
渋滞情報	96
通信	96
Bluetooth	96
SDカード	97
携帯電話	97
オーディオ.....	98

付録

取り扱い上のご注意.....	102
液晶画面の正しい使いかた	102
ディスクの正しい使いかた	103
miniB-CASカードの正しい使いかた	104
SDカードの正しい使いかた	105
USB機器に関するご注意	105
iPodに関するご注意.....	106
電波に関するご注意	106
保証書とアフターサービス	108
仕様.....	109
VICS情報有料放送サービス契約約款	111
Gracenote [®] について	113
商標・著作権など	114
記号・マーク一覧.....	131

ご使用前に知っておいていただきたいこと

お客様へのご注意

- 走行中に運転者がナビゲーション操作をし画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。また、運転者がナビゲーションの操作を行う場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本製品には交通規制データが収録されておりますが、交通規制の変更などにより、実際とは異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故の原因や道路交通法違反となることがあります。
- 緊急を要する施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、本製品への依存を避け各該当施設へ直接ご確認ください。
- 本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやオーディオの一部のメニュー操作や地図の連続スクロールはできません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは全て本機内蔵のハードディスクに保存されています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



- ・環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

点検などでバッテリーを外すと、セキュリティロックが有効になっている場合は、起動時にパスワードの入力が必要になります。また、次の内容が工場出荷時の設定に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

- ・自車方位
 - ・画質調整
 - ・画面角度調整
 - ・オーディオ設定の内容
 - ・ラジオ、交通情報のプリセット内容
 - ・各AVソースの再生モード
- など

画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度を調整（→P33）し、調整した角度に合わせて黒の濃さを調整（→P32）してください。液晶画面自体の明るさや色温度なども変更できます。お好みに応じて調整してください。

低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録（登録地）などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

本機と接続可能な通信機器について

- 本機に接続可能な通信機器は、Bluetoothに対応した携帯電話と別売のデータ通信

SDカードについて

専用通信モジュール「ND-DC1」のみです。

- 携帯電話をお使いになる場合は、本機とBluetooth接続することで、電話機能、通信機能やBluetooth Audio機能などをお使いいただけます。ただし、携帯電話やスマートフォンの機種によっては、それらに対応していない機種もありますので、ご注意ください。また、別売の携帯電話接続ケーブルを使つての接続には対応しておりませんのでご注意ください。

携帯電話接続情報については、以下のサイトから確認できます。

■ 携帯電話から

<http://pioneer.jp/carnavi-keitai/>



※機種によって読み込みできない場合があります。

※QRコードの読み取りは、本機と接続予定の携帯電話で行ってください。

■ パソコンから

<http://pioneer.jp/car/keitai-check/>

- 通信モジュールをお使いになる場合は、通信機能のみお使いいただけます。電話機能もお使いになる場合は、通信モジュールを接続したまま、本機と携帯電話をBluetooth接続してください。ただし、この場合携帯電話では電話機能のみご利用となります。
Bluetooth Audio対応の携帯電話をお使いの場合は、Bluetooth Audioもご利用可能です。

パソコンリンクソフトのご案内

パソコンリンクソフト「NAVI*STUDIO」(以降ナビスタジオ)をパソコンにインストールしてお使いいただくと、最新の地図やスマートループ渋滞情報、ウェザーライブなどのデータをネットワーク経由で取得したり、付属のBeatJamを使ってCDからリッピングした音楽データやパソコン内の楽曲データをSDカードに保存することができます。保存されたデータや情報は、SDカードを本機に挿入して反映させることができます。ナビスタジオのご利用に関して、詳しくは「ナビスタジオを使ってみよう」(→P76)をご覧ください。

- 本機は、SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードに対応しています。本書では、便宜上「SDカード」と表記する場合があります。

- ナビスタジオ(→P76)のご利用には、16GB以上のSDHCメモリーカードが必要です。お使いいただいているパソコンがSDHCメモリーカードに対応していない場合には、SDHCカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。

- 本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。

- SDカードは寿命があります。普通にも使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。

- お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをするとSD非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しが出来ないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。

ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ずSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。

SDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアソシエーションの以下ホームページより入手できます。

<http://www.sdcard.org/jp/consumers/formatter/>
(2011年2月時点転載)

次ページへつづく

- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

液晶画面について

液晶画面は、構造上きれに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれに見えるように、見る角度に合わせて画質を調整してください。(→P32)

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

バージョンアップについて

- 本機は、マップチャージ3年分付(2011年5月～2014年4月)です。この期間内であれば何度チャージしても更新料金はかかりません。2014年5月以降のバージョンアップは有償となります。
- マップチャージを利用するには、インターネットに接続したパソコンにナビスタジオをインストールする必要があります。
- 地点情報データや道路データは毎月更新予定です。全データは年2回の更新を予定しています。整備スケジュールの都合上、更新対象がない月もあります。
- 通信モジュールをお使いのお客様は、地点情報データと道路データの更新を通信でも行えます。
- 全データ更新をする際は、16GB以上のSDカードが必要です。
- インターネット接続環境をご利用になれないお客様へは、年1回、SDカードによる

バージョンアップソフトの販売を予定しています。詳細は弊社ホームページにてご案内する予定です。

- バージョンアップのお知らせについては登録時に「バージョンアップのご案内の送付」に同意いただいた方のみEメールにてご案内させていただきます。

お客様登録のお願い

ご購入いただいた商品の安全に関する重要なお知らせをご案内する場合がありますので、下記のいずれかの方法にてご登録手続きをお願いいたします。なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

本機の通信機能利用によるご登録

本機の通信機能を利用して、登録を行います。→「本機の通信機能を使って登録する」(P21)

インターネット利用によるご登録

インターネットに接続して、パソコンから登録を行います。→「インターネットを利用して登録する」(P24)

登録ハガキによるご登録

インターネット接続をご利用いただけない場合は、同梱の登録ハガキに必要な事項を記入のうえ、同封の目隠しシールを貼り、投函してください。



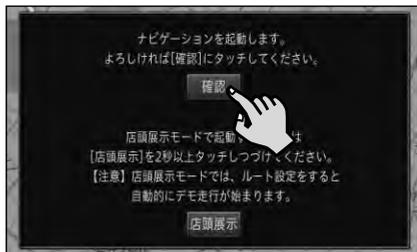
- ・ニックネームやパスワードを必要とする通信機能をご利用いただくには、本機の通信機能またはインターネットを利用したお客様登録が必要になります。

お客様が保存されたデータについて

- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- 本機の地図データ更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証についてはご容赦願います。
- お客様がナビ本体のミュージックサーバーで録音された音楽情報についてはバックアップする機能はありませんのでご了承ください。

初期学習について

ナビゲーションの初期学習が完了していないときにエンジンをかけると以下の画面が表示されますので、**確認**にタッチしてください。**店頭展示**にはタッチしないでください。タッチしてしまった場合は、一度車のキーを抜いてから、エンジンをかけ直してください。



その他

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が動き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続してお楽しみください。
- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測定結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報は含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができる仕組みになっており、お客様の同意をいただいた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

- ナビゲーションに登録されたメモリアル・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

セキュリティロック機能について

本機は、パスワードによるセキュリティロック機能（盗難抑止機能）を内蔵しています。出荷時は、セキュリティロック機能は動作しておりません。必要に応じてセキュリティロック機能を設定してください。設定には、通信機器の接続と設定が必要です。⇒『ユーザーズガイド（→P5）』－『セキュリティロックを使う』

アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録（→P21）をしていただいたお客様にいたします。必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越しなどにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）へご相談ください。

オートアンテナ車のご注意

本機をオートアンテナ車（モーターアンテナ車）に取り付けた場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。カスタムキーに「アンテナコントロールをON/OFFする」を割り当てておくと、立体駐車場などでオートアンテナをコントロール*することができます。→「C（カスタム）ボタンの操作」（P35）

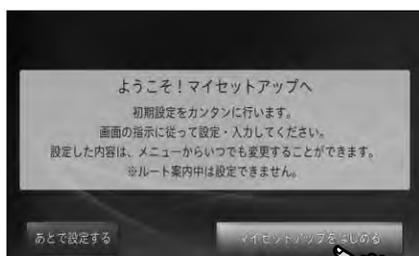
* ONはACC連動（本機の電源ON時にアンテナが上がる）、OFFはFM/AM連動（ラジオソースON時にアンテナが上がる）となります。

マイセットアップをしよう

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。本機をご購入後、はじめてお使いになるときは、自動的にマイセットアップが起動します。

マイセットアップをはじめ

1 マイセットアップをはじめにタッチする



以下の順に設定を行います。

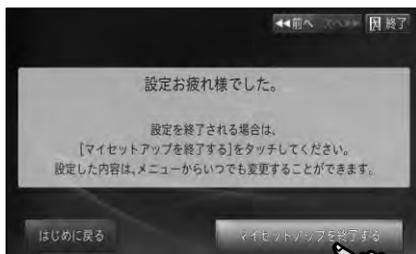
音量設定 → 自宅設定 → 燃費推定 / 車両情報 → ETC 取付状態設定 → Bluetooth 設定 → プローブ情報送信設定 → スマートループお試し登録

それぞれの画面の指示に従って設定してください。



- ルート案内中は、マイセットアップを行うことはできません。
- あとで設定したい場合は、**あとで設定する** にタッチしてください。次回起動時もマイセットアップが起動します。
- 本機の起動時以外や設定した内容を変更したい場合は、設定・編集メニュー(→P39)からマイセットアップを行ってください。

2 マイセットアップ終了画面まで進んだら、**マイセットアップを終了する** にタッチする



マイセットアップ画面について

終了 ————
マイセットアップを終了します。

次へ ▶▶ ————
設定内容を保存し、次の画面を表示します。

◀◀ **前へ** ————
設定をやり直す場合など、一つ前の画面を表示します。



ガイダンスメッセージ
機能の概要と操作方法をかんたんなメッセージで表示します。

マイセットアップ進捗バー
マイセットアップがどこまで進んでいるか確認できます。

マイセットアップで 設定できる項目

音量設定

ナビゲーションの案内音量や電話の着信音量と受話音量の調整、操作音のON/OFFを設定できます。



自宅設定

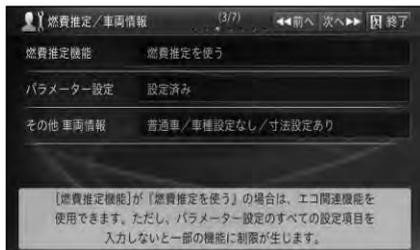
自宅を登録できます。



燃費推定 / 車両情報

燃費推定機能を使うか使わないか、車両の情報（有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さなど）が設定できます。

※本設定を行う場合は、必ずすべての項目を入力してください。未入力項目があると、一部の機能に制限が発生します。



ETC 取付状態設定

車に ETC / DSRC ユニットの取り付けられているかいないかを設定できます。



Bluetooth 設定

本機に Bluetooth 機器を登録できます。Bluetooth 機器を登録すると、データ通信やハンズフリー、Bluetooth Audio が利用できます。

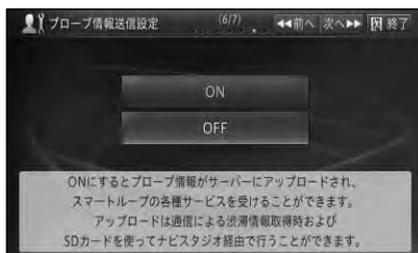
※ご利用可能な機能は、接続された Bluetooth 機器によって異なります。

※データ通信をご利用の場合、パケット通信費および接続料金はおお客様のご負担となります。



プローブ情報送信設定

スマートループ機能を利用するために必要な、プローブ情報の送信を行うか行わないかが設定できます。

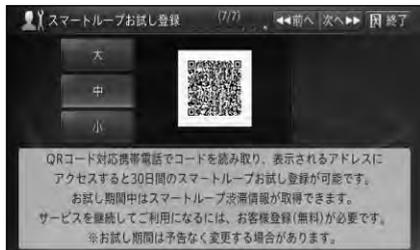


次ページへつづく

スマートループお試し登録

スマートループお試し登録を行うと、お客様登録（→P21）およびスマートループ設定の初期登録（→P67）をすることなく期間限定でスマートループ渋滞情報を取得し、体験することができます。（別途、通信機器のご準備は必要です。また、パケット通信費および接続料金はお客様のご負担となります。）

スマートループお試し登録は、携帯電話のQRコード読み取り機能を利用して、当社指定のアドレスに携帯電話で空メールを送信し、返送されてくる確認メールに記載のURLにアクセスすると完了します。



テレビを見るための準備をしよう

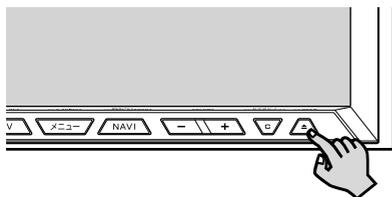
本機をご購入後、はじめてテレビをご覧になるときは、miniB-CASカードの装着や受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業（チャンネルスキャン）が必要です。これらの準備が完了するまでは、テレビをご覧いただくことはできません。



- チャンネルスキャンは、テレビの電波を受信しやすい場所で行ってください。（地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。）
- 車のバッテリーを外したときや、設定初期化したときにもチャンネルスキャンが必要です。

1 車のエンジンをかける

2 イジェクトボタンを長く押す

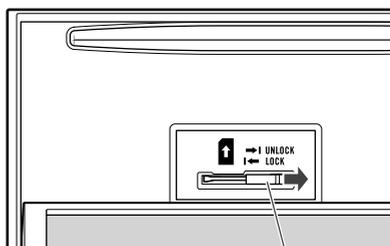


▼
モニターが開きます。

- ! モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。



3 LOCKレバーをUNLOCK位置までスライドする



LOCKレバー

4 miniB-CASカードを奥まで差し込む

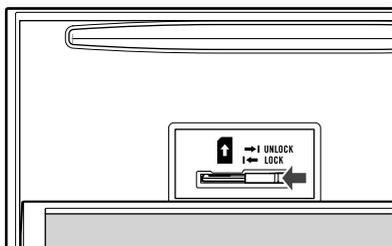


印字面を上にして
差し込む

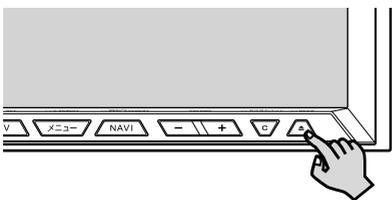
miniB-CASカード

次ページへつづく

5 LOCKレバーを LOCK位置までスライドする



6 イジェクトボタンを押す

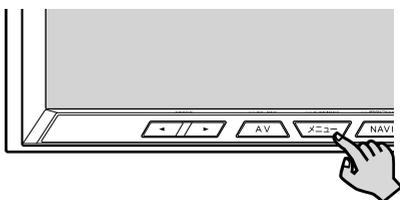


▼
モニターが閉じます。



- モニターが閉じない場合は、miniB-CASカードLOCKレバーがLOCK位置になっていない可能性があります。LOCKレバーの位置をご確認ください。LOCKレバーの位置が正しくないままイジェクトボタンを押すと、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます。
- 地上デジタル放送は、miniB-CASカードがないと視聴できません。視聴中は、必ず付属のminiB-CASカードを本機に装着してください。
- miniB-CASカードは、常時装着した状態で使用、保管してください。
- miniB-CASカードの取り扱いについては、カードが貼ってある台紙をご覧ください。

7 メニューボタンを押す



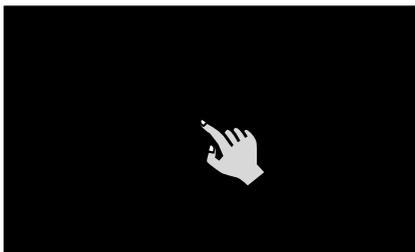
8 AV menu にタッチする



9 DTV にタッチする



10 画面にタッチする



11 にタッチする



12 **スキャン** に長くタッチする



▼

チャンネルスキャンを開始します。



▼

チャンネルスキャンが終了すると、テレビの映像が表示されます。

miniB-CASカードを取り外すときは

何らかの理由によりminiB-CASカードを本機から取り外すときは、モニターを開いてLOCKレバーをUNLOCKの位置までスライドしてから取り出してください。miniB-CASカードを取り出したあとは、必ずLOCKレバーをLOCK位置までスライドしてください。miniB-CASカードが挿入されていない状態でも、LOCKレバーをLOCK位置にしないとモニターを閉じることができません (LOCKレバーの位置が正しくないままイジェクトボタンを押すと、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます)。

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタシオ

オプション品

困ったときは

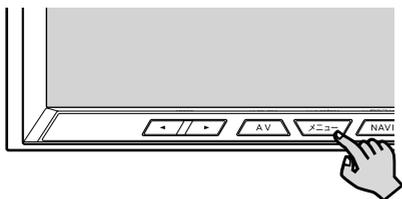
付録

自宅を登録しよう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきます。自宅の場所を登録しておくことで、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、簡単な操作でルートを探索できるようになります。

1 自宅に車を停める

2 メニューボタンを押す



3 自宅にタッチする



- **自宅**が表示されていないときは、**NAVI menu** にタッチしてください。

4 自宅にタッチする



▼
自宅が登録されます。

- ! • 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。



- マイセットアップ (→ P14) でも行うことができます。
- 引っ越しなどの理由で自宅を再登録したい場合は、登録済みの自宅を削除してから操作してください。→ 『ユーザーズガイド (→ P5)』 - 「登録した場所の編集」
- 地図画面上で自車マークが自宅の位置にあることを確認してください。ずれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。→ 「地図の動かし方」(P48)
- 自宅の登録後に**自宅**にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。

お客様登録（無料）をしよう

本機の通信機能や無料バージョンアップなど、本機をより便利で快適にお使いいただくためには、あらかじめお客様登録をしていただくことをお勧めします。お客様登録の方法は3通り（→P12）あり、本書では本機の通信機能を使った方法とインターネットを利用した方法を説明します。



- ・マイセットアップ（→P14）で「スマートループお試し登録」を行っていただいた場合は、お客様登録（無料）およびスマートループ設定の初期登録（→P67）をしなくてもスマートループ渋滞情報を期間限定で体験していただくことができます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用される場合や、本機の全機能をお使いになる場合は、お客様登録（無料）を行ってください。

本機の通信機能を使って登録する

本機の通信機能を使用して、お客様登録とスマートループ利用登録を行います。

携帯電話を登録する

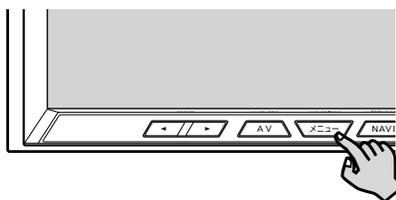
通信に使う携帯電話を本機に登録します。あらかじめお使いになる携帯電話のBluetooth機能をONにしてください。

携帯電話に関する操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



- ・別売のデータ通信専用通信モジュール「ND-DC1」をお使いになる場合は、本機に接続するだけで特別な設定は必要ありません。携帯電話のハンズフリー機能をお使いになる場合は、「ハンズフリーをしてみよう」（→P73）をご覧ください。

1 メニューボタンを押す



2 設定・編集にタッチする



3 システム設定にタッチする



次ページへつづく

4 Bluetooth設定にタッチする



- 検索は約 20 秒間行われます。検索を開始して 20 秒経過後に Bluetooth 機能を ON にした機器などがある場合は、**再検索** にタッチすると検索し直します。
- お使いの携帯電話によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する** にタッチして、Bluetooth 機器の登録メニューから登録してください。

5 機器登録にタッチする



7 携帯電話を操作してパスキーを入力する



以上で、携帯電話の登録は完了です。

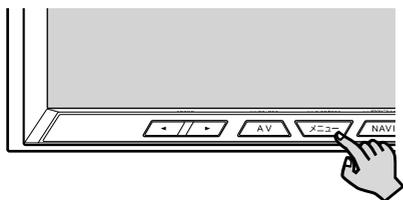
▼
周辺の Bluetooth 機器を検索してリスト表示します。

6 登録したい携帯電話名が表示されたらタッチする



お客様登録を行う

1 メニューボタンを押す



2 Smart Loop にタッチする



- **Smart Loop** が表示されていないときは、**NAVI menu** にタッチしてください。
- 回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチしてください。

3 お客様メニューにタッチする

4 お客様登録にタッチする

5 新規登録にタッチする

6 約款を読んでから同意するにタッチする

以降は、画面に従い必要な情報を順次入力します。

7 終了にタッチする

以上で、お客様登録は完了です。



- お客様登録が完了すると、自動的にスマートループ利用登録も完了し、利用期間が12ヶ月に設定されます。
- スマートループ利用登録期間は、必要に応じて変更してください。⇒「ユーザーズガイド(→P5)」-「お客様の情報を登録する」
- スマートループのご利用には、別途スマートループ設定が必要です。(→P67)

インターネットを利用して登録する

インターネットを利用して、自宅のパソコンなどからお客様登録およびスマートループ利用登録を行います。

1 下記 URL にアクセスして、お客様登録とスマートループ利用登録の設定を行う

<http://pioneer.jp/support/members/>



以上でお客様登録とスマートループ利用登録の設定は完了です。



- ナビスタジオのランチャー画面 (→ P78) から、お客様登録ページを表示させることもできます。
- スマートループのご利用には、別途スマートループ設定が必要です。(→ P67)

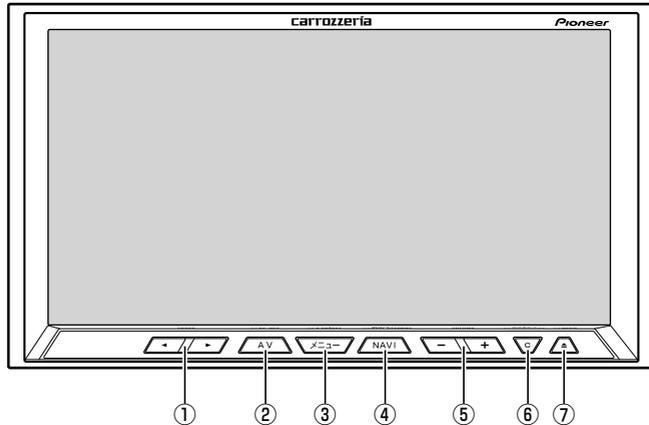
本機の基本操作を覚えよう

各部の名称とおもな働き

ナビゲーション本体、マイクの各部の名称と働きを説明します。

ナビゲーション

閉じている状態



① ◀ ▶ (トラック/チューニング) ボタン (→ P59)

放送局の選択や再生する曲の選択、曲の早送りや早戻しに使用します。

② AV ボタン (→ P31)

AVソース画面時は、セントラルメニューを表示します。(長く押すとAVソースをOFFにしてセントラルメニューを表示します。)

ナビゲーション画面時は、AVソースがOFFの場合はセントラルメニューを表示し、AVソースがONの場合はAVソース画面を表示します。

③ メニューボタン (→ P32, 36, 57)

セントラルメニューを表示します。セントラルメニュー表示中は、NAVI menu と AV menu を切り換えます。長く押すと画面の画質を調整します。

④ NAVI ボタン (→ P31)

ナビゲーションの現在地表示に切り換えます。長く押すとナビゲーションをスタンバイ(待機)状態にします。

⑤ 音量調整 (-/+) ボタン (→ P34)

オーディオの音量を調整します。



・ナビゲーションの案内音声、操作音、電話の受話音および着信音の調整は、「ナビゲーションの音量を調整する」(→ P33)で行います。

⑥ C (カスタム) ボタン

設定された機能(アンテナコントロールのON/OFFなど)を実行します。

長く押すとカスタムリストを表示します。

⑦ イジェクトボタン (→ P27, 29, 33)

ディスク、SDカードの出し入れや、モニターの角度調整を行うための操作画面を表示します。

長く押すとモニターを開きます。



・本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。

・モニターの角度調整や開閉を手動で行ったりしないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。

次ページへつづく

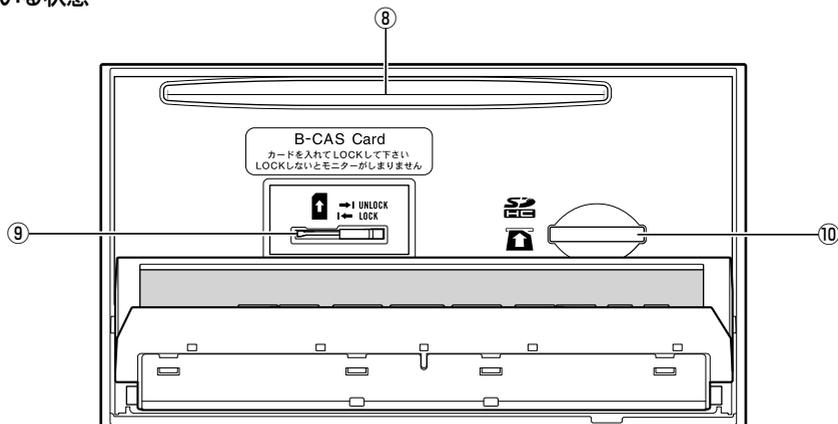


- モニターの角度調整や開閉をするときに、物を挟まないように注意してください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉操作をしてください。



- モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

開いている状態



⑧ ディスク挿入口 (→ P28)

DVD や CD などを挿入します。

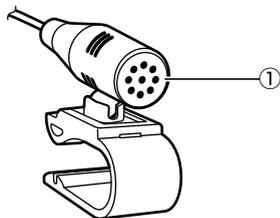
⑨ miniB-CAS カード挿入口 (→ P17)

miniB-CAS カードを挿入します。

⑩ SD カードスロット (→ P29)

SD カードを挿入します。

音声認識用マイク



① 音声認識用マイク

音声操作やハンズフリー通話をするときは、このマイクに向かって話します。

ナビゲーションの電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチをONにすると自動的に入り、エンジンスイッチをOFFにすると電源も切れます。



・本機は、エンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にするとモニターが自動的に傾いていない状態に戻ります。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。



・モニターが完全に開いた状態でエンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にしても、自動的にモニターが閉じることはありません。また、約3秒後に“ピーピーピーピー”と警告音がなり、モニターが開いたままであることを知らせます。故障ではありません。



・ナビゲーションの電源スイッチはありません。

ディスクの入れかた・取り出しかた



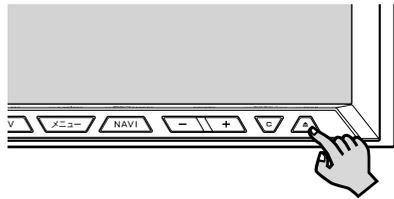
・モニターを開閉するとき、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。



- ・本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- ・モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- ・モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- ・8cmディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8cmディスクも絶対に使用しないでください。

ディスクの入れかた

1 イジェクトボタンを押す



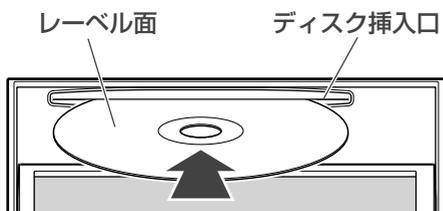
2 OPEN にタッチする



▼
モニターが開きます。

次ページへつづく

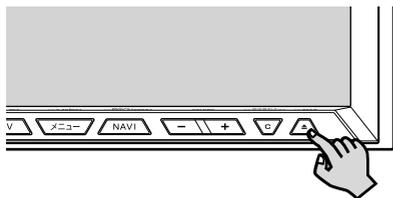
3 ディスク挿入口にディスクを差し込む



ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、モニターが閉じます。

ディスクの取り出しかた

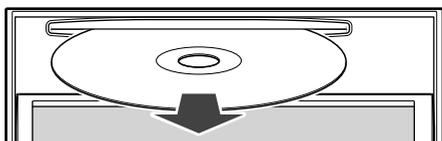
1 イジェクトボタンを押す



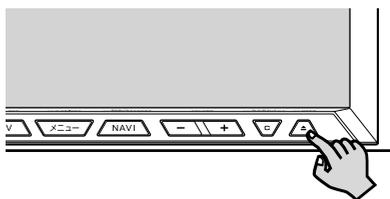
2 ディスクイジェクトにタッチする



モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



3 ディスクを取り出し、イジェクトボタンを押す



モニターが閉じます。

SDカードの入れかた・ 取り外しかた



・モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。



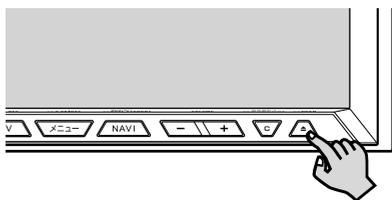
- ・本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- ・モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- ・モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- ・SDカードの出し入れを無理に行くと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- ・SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- ・安全の為、走行中はSDカードの出し入れはしないでください。



- ・ナビスタジオ (→P76) をご利用になる場合は、ナビスタジオ専用として使用するSDカード (16GB以上) が必要です。また、本機をご購入後はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。ナビスタジオ専用としてお使いになるSDカードの場合は**はい**にタッチしてください。それ以外の用途 (例えば知人から一時的に借りたSDカードの場合など) の場合は**いいえ**にタッチしてください。詳しくは、「ナビスタジオを使ってみよう」(→P76) をご覧ください。
- ・本機と組み合わせて使用しているときにSDカードのデータが消失しても、消失したデータの保障についてはご容赦ください。

SDカードの入れかた

1 イジェクトボタンを押す



2 SDカード挿入にタッチする



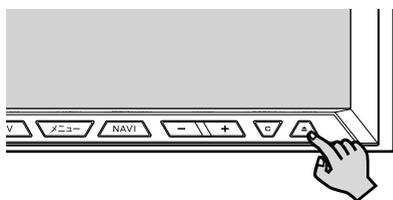
モニターが開きます。

3 “カチッ”と音がするまでSDカードを差し込む



次ページへつづく

4 イジェクトボタンを押す

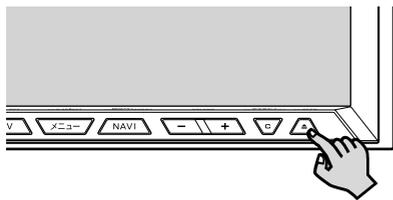


モニターが閉じます。

- SDカードが完全に挿入されていない状態でイジェクトボタンを押さないでください。カードを破損させるおそれがあります（SDカードの挿入位置が正しくないままイジェクトボタンを押すと、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます）。

SDカードの取り外しかた

1 イジェクトボタンを押す



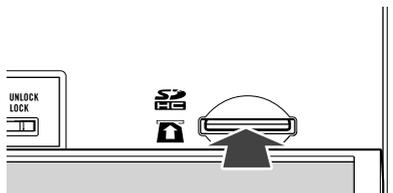
2 SDカード取り外しにタッチする



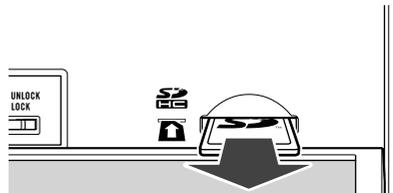
モニターが開きます。

- SDカードを取り外す場合は、必ず**SDカード取り外し**にタッチしてから行ってください。タッチせずに取り外すと、SDカード内のデータが破損する恐れがあります。

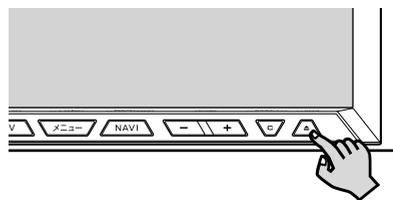
3 “カチッ”と音がするまでSDカードを押し込んで離す



SDカードが押し出されます。



4 SDカードをまっすぐ引き抜き、イジェクトボタンを押す



モニターが閉じます。

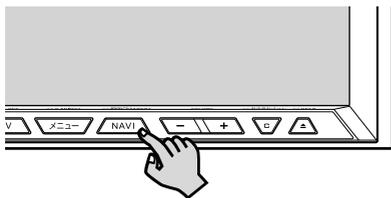
- SDカードは中央部をゆっくりと押し、まっすぐ取り出してください。
- 取り外したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

画面の操作

ナビゲーション画面と AV ソース画面を切り換える

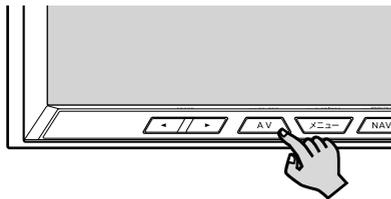
AVソースの音声はそのまま、画面だけナビゲーション画面とAVソース画面を切り換えることができます。

1 AV ソース画面表示中に NAVI ボタンを押す



ナビゲーション画面に切り換わります。

2 ナビゲーション画面表示中 に AV ボタンを押す



AV ソース画面に切り換わります。
AV ソースが OFF の場合は、セントラルメニューを表示します。

画面を一時的に消す (ナビスタンバイ)

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 NAVI ボタンを長く押す



画面が一時的に消えます。

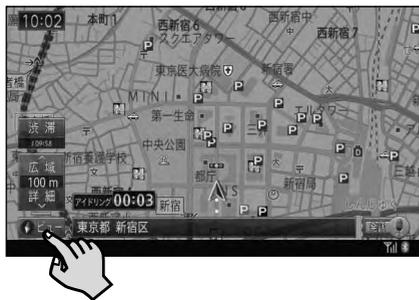


- ナビスタンバイ中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。

2画面表示に切り換える

画面を2分割して、地図画面とAVソース画面を同時に表示させることができます。

1 ビューにタッチする



2 AVサイドビューにタッチする



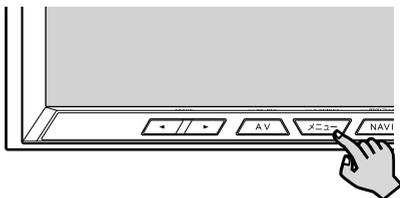
2画面表示に切り換わります。



画質を調整する

画面を見る角度などに応じて、お好みで画質を調整することができます。

1 メニューボタンを長く押す



2 調整したい項目にタッチする



モニターの角度を調整する

モニターは、見やすいように角度を調整してください。

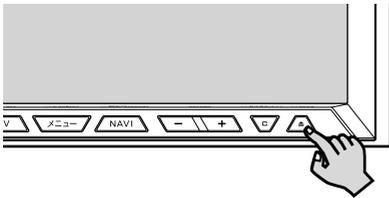


- ・モニターの角度調整を手動または工具を使って無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。



- ・モニターの角度調整をするときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

1 イジェクトボタンを押す



2 戻るまたはメニューにタッチする



タッチするごとに、モニターの角度が変わります。

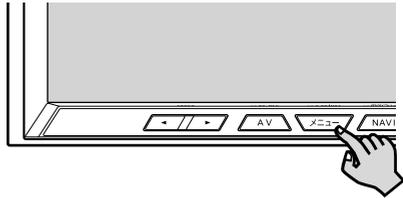


- ・角度調整したモニターは、次にエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にしたとき自動的に調整した角度になります。

3 戻るにタッチする

ナビゲーションの音量を調整する

1 メニューボタンを押す



2 設定・編集にタッチする



3 案内・ハンズフリー音量設定にタッチする



次ページへつづく

4 調整したい項目の **+**/**-** または **ON**/**OFF** にタッチする



- マイセットアップ (→ P14) でも行うことができます。
- 操作音は、それぞれの調整した音量と同じ大きさで鳴ります。
- 調整・補正メニュー (→ P39) の「音量／消音設定」では、より詳しい設定ができます。



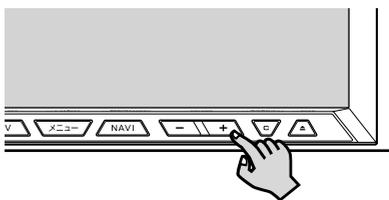
- 操作音を OFF に設定すると、警告音も鳴らなくなりますのでご注意ください。

オーディオの音量を調整する



- 車外の音が聞こえにくくと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお使いください。

1 音量調整 (-/+) ボタンを押す



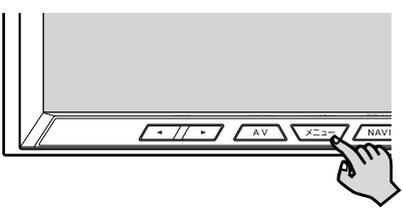
-	音量が小さくなります。
+	音量が大きくなります。

C (カスタム) ボタンの操作

普段よく使う機能を C (カスタム) ボタンに登録して使うことができます。カスタム機能の使いかたは、C (カスタム) ボタンを押すことで1つの機能を実行する「カスタムダイレクト」と、C (カスタム) ボタンを長く押しで最大10個の機能をリスト表示する「カスタムリスト」があります。

カスタム機能を設定する

1 メニューボタンを押す



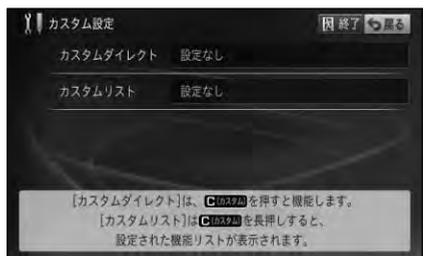
2 設定・編集にタッチする



3 システム設定にタッチする



4 カスタム設定にタッチする



カスタムダイレクト	設定したい機能のグループ、設定したい機能の順に選びます。
カスタムリスト	設定したい機能を割り当てる番号 (1 ~ 10)、設定したい機能のグループ、設定したい機能の順に選びます。

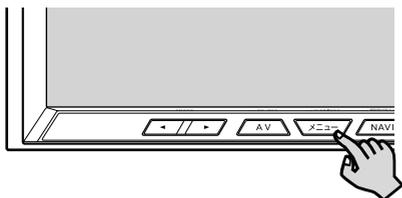
- 下記2項目以外の機能が「カスタムダイレクト」に設定されている場合、地図画面以外で操作しても機能しません。
 - 「アンテナコントロールをON/OFFする」
 - 「アッテネーターをON/OFFする」

メニューの操作を覚えよう

セントラルメニューを表示させる

セントラルメニューには、本機のさまざまな機能が集められています。

1 メニューボタンを押す



セントラルメニューが表示されます。



NAVI menu 行き先を探してルートを探したり、場所を探して詳細情報の表示や登録などができます。

AV menu 音楽を聴いたり、DVDを見たり、テレビを視聴したりすることができます。

AV OFF オーディオ機能の再生や視聴を中止することができます。

携帯電話 発信操作や発信履歴の履歴操作、メモリダイヤルの読み込み・利用、メール操作や各種編集・消去などができます。

ビュー 地図の表示方法変更や強調させた情報の設定、地図の向きや各種表示に関する設定ができます。

情報 ルート情報や渋滞情報、バージョン情報など各種情報を確認・利用することができます。

設定・編集 各種データやルートの編集、オーディオ関連の設定やナビゲーション関連の設定などを行うことができます。

ルート ルート再探索や別ルートの探索、ルート消去などルートに関する操作を行うことができます。

NAVI menu



マルチ検索 行き先の手がかりとなるキーワードを複数入力して、絞り込んで検索します。キーワードのカテゴリ(名称・ヨミ仮名・ジャンル)を指定して検索することもできます。また、本機が通信可能な状態にある場合は、通信検索を行うこともできます。

住所 行き先の住所を入力して検索します。

電話番号 行き先の電話番号を入力して検索します。

ジャンル 行き先のジャンルから検索します。

周辺施設 自車の位置または地図をスクロールさせた位置やルート周辺から特定の施設を検索します。

例：ガソリンスタンド、コンビニ

履歴・登録地	登録した場所や、今までに検索した場所の履歴から検索します。日付順や自車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで検索することができます。
Smart Loop (通信接続可能な状態にある場合)	スマートループポータルサイトに接続し、特集表示・フリーワード検索・駐車場満空情報・ガススタ価格情報・TV紹介スポットなどを利用することができます。また、お客様登録などを行うこともできます。
自宅	現在地やスクロール地点、検索結果地点などを、自宅として登録することができます。登録済みの場合は自宅へのルート探索を行います。

AV menu



DISC	CD や ROM、DVD などを再生することができます。
MSV	本機に録音・転送された音源を再生することができます。
FM	FM ラジオ放送を聞くことができます。
AM	AM ラジオ放送を聞くことができます。
DTV	地上デジタルテレビ放送を視聴することができます。
SD	本機に挿入したSDカード内の音楽ファイルや映像ファイルを再生することができます。
Bluetooth Audio	本機に接続した Bluetooth 機器内の音楽ファイルを再生することができます。
iPod	本機に接続した iPod 内の音楽データや映像データを再生することができます。

USB	本機に接続したUSB内の音楽ファイルを再生することができます。
AUX	本機に接続した外部機器の映像や音声を再生することができます。
交通情報	幹線道路などで放送されているAMの交通情報を聞くことができます。

携帯電話メニュー



ダイヤル発信	ダイヤル発信画面を表示し、10キーを使って電話番号を入力することができます。
メモリダイヤル	本機と接続中の携帯電話から読み込んだメモリダイヤルをリスト表示し、選んだ相手に発信することができます。
発信履歴	本機と携帯電話が接続中に発信または着信された電話番号の履歴をリスト表示し、選んだ番号に発信することができます。
メール	フォトリモ@ナビ対応携帯電話接続時のみメールメニューを表示し、新規作成や再送信を行うことができます。
編集・消去	メモリダイヤルの読み込みや消去、発信履歴の消去、メール機能(アドレス、タイトル、本文)の編集をすることができます。

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタジオ

オプション品

困ったときは

付録

ビューメニュー



ノーマルビュー	地図画面を平面で表示することができます。
スカイビュー	地図画面を上空から見ているように表示することができます。
ドライバースビュー	地図画面をドライバーの目線で見ているように表示することができます。
ツインビュー	地図画面を左右に2分割して表示することができます。
AVサイドビュー	画面を2分割して、地図画面とAV画面を同時に表示することができます。
ハイウェイモード	有料道路走行時のみ、専用画面を表示させることができます。
通常表示	地図に表示される情報を工場出荷時の状態で表示させることができます。
文字拡大	地図に表示される情報の内、文字のみを拡大表示させることができます。
道路重視	地図に表示される情報の内、道路に関する情報を強調表示させることができます。
地図方位	地図の向きを、車の進行方向が常に上(ヘディングアップ)か北が常に上(ノースアップ)になるように設定することができます。
100mスケール一方通行表示	地図スケールを100mで表示しているときに、地図上に一方通行のマークを表示するかしないかを設定することができます。
ロゴマーク表示設定	地図上に、施設のロゴマーク(ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなど)を表示するかしないかを設定することができます。

その他設定	現在の地図スケールを登録することができます。
周辺検索結果消去	周辺検索を行った際に、検索結果として地図上に表示される施設のロゴマークを消去することができます。

情報メニュー



プローブ情報保存	プローブ情報*をSDカードに保存します。
ルート情報	ルートの確認や消去、詳細設定などを行うことができます。
渋滞情報	文字や図形のVICS情報を見ることができます。また、通信を利用しての渋滞情報(オンデマンドVICS/スマートループ)を取得することもできます。
ウェザーライブ	通信可能な状態であれば、気象情報の取得を行うことができます。
エコステータス詳細	エコステータスの内容をグラフや指数などで、より詳しく見ることができます。
システム情報	走行中の状態や各機器の接続状態、ハードディスクやSDカードの空き領域の情報を見ることができます。
バージョン情報	本機に収録されている地図データなどのバージョンを見ることができます。
マップクリップ	現在表示中の地図情報を、二次元バーコード(QRコード)に変換することができます。
ETC利用履歴	本機に接続したETCユニットに挿入されているETCカードに記録された利用履歴を見ることができます。

DSRC情報	高速道路サービスエリアのITSスポットなどのDSRC情報接続サービス提供エリア内で通信可能な状態であれば、施設から提供されるさまざまな情報を表示して利用することができます。
---------------	--

 ※「プローブ情報」とは、以下のデータの総称です。

- 蓄積型プローブ
 - SDカードとパソコン経由で専用サーバーへ送信される、本機内蔵のハードディスクに蓄積されたオートパーキングメモリーや走行履歴などのナビゲーションに関する情報と、ミュージックサーバー(MSV)の収録曲や再生・追加・削除などの情報
- リアルタイムプローブ
 - 本機に接続された通信機器を使って、専用サーバーへ送受信される現在の走行履歴データ

設定・編集メニュー



マイセッ アップ	マイセッアップを行うことができます。
データ編集	登録地や駐車場履歴データ、ロードクリエイターやドライブプランの編集を行うことができます。また、オートリルート履歴や検索履歴、学習ルート、走行軌跡、オーディオデータの消去を行うこともできます。
ルート編集	ルートの確認や消去、詳細設定などを行うことができます。
オーディオ 設定	オーディオの音質を調整することができます。

ソース別設定	DTVやMSVなど、各オーディオ機能特有の設定を行うことができます。
機能設定	地図表示やルート、渋滞情報などナビゲーションに関する設定を行うことができます。
スマート ループ設定	スマートループを利用するための初期登録や各種設定、スマートループの情報取得方法などを設定することができます。
燃費・車両 設定	燃費推定機能の使用有無やパラメータ(燃料単価や排気量など)の設定、車両情報の入力などを行うことができます。
調整・補正	ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の着信・受話音量の調整と操作音のON/OFF、消音タイミングと消音レベルの設定、ガイド音声出力時のスピーカー選択などを行うことができます。また、自車位置がずれた場合の修正や、走行している道路の認識が間違った場合の切り換えを行うこともできます。
システム設定	Bluetooth機器の接続設定やカスタムボタンの設定、音声操作の設定、イルミネーションカラーの設定、セキュリティロックの設定、各種オプション品(カメラ、通信モジュール、ETC/DSRCユニット)の設定などを行うことができます。また、設定の初期化を行うこともできます。
案内・ハンズフ リー音量設定	ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の着信・受話音量の調整と操作音のON/OFFを設定することができます。

メニュー操作の流れ

セントラルメニュー (NAVI menu)



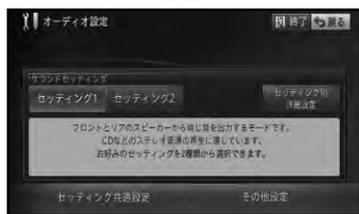
設定・編集メニュー



セントラルメニュー (AV menu)



オーディオ設定メニュー



携帯電話メニュー



情報メニュー



ビューメニュー



その他設定メニュー



データ編集メニュー



ルート編集メニュー



機能設定メニュー



ソース別設定メニュー



スマートループ設定メニュー



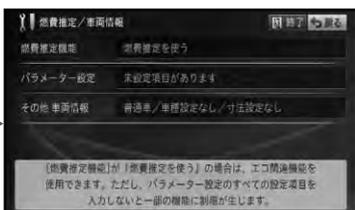
調整・補正メニュー



システム設定メニュー



燃費・車両設定メニュー



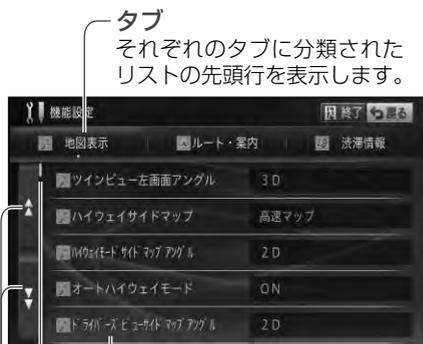
その他設定メニュー



リスト画面の操作を覚えよう

本機では、使っている機能に応じていろいろなリスト画面が表示されます。それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。

基本的なリストの操作



タブ
それぞれのタブに分類されたリストの先頭行を表示します。

リスト項目
目的の項目を選んでタッチします。

リストバー
リスト項目量の目安とリストの現在位置を示します。

ページ送りタッチキー
タッチするとリストをページ送りします。

その他のリスト操作

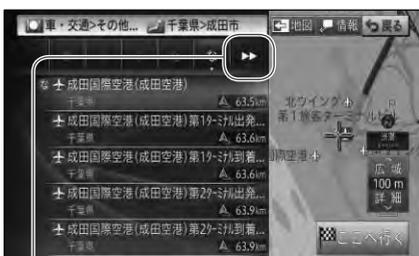
50音タブ付きリストの操作

サイドマップなし



50音タブ
選んだタブの先頭からリスト表示します。
(あ→か→さ→た→な)
同じタブに繰り返しタッチすると、音送りでリスト表示します。
(あ→い→う→え→お)

サイドマップ有り



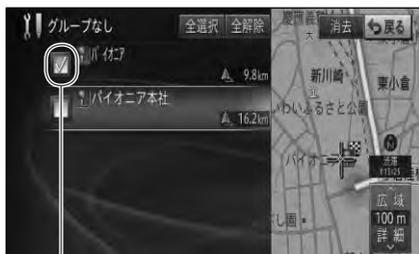
タブ送り
サイドマップが表示されている場合は、50音タブが省略表示されます。タッチするごとに隠れている50音タブを表示します。

ポップアップメニューの操作



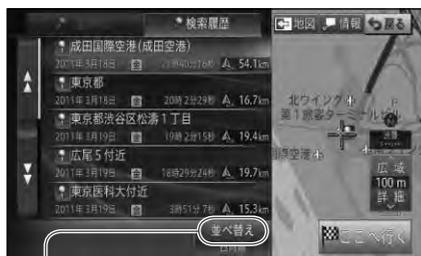
ポップアップメニュー
選んだ項目に選択肢がある場合に
表示されます。

チェックタイプリストの操作



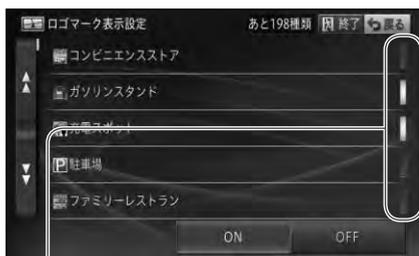
チェックマーク
タッチするとチェックマークが
表示され、選択中であることを
示します。もう一度タッチする
とチェックマークが消え、選択
が解除されます。

並べ替えの操作



並び替え
タッチするごとに、ヨミ順や近い
順などのようにリスト表示を並べ
替えます。
並び替えの種類は、表示している
画面によって異なります。

インジケータ付きリストの操作



インジケータ
タッチするとインジケータが点灯
し、選択中であることを示します。
もう一度タッチするとインジケータ
が消灯し、選択が解除されます。

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタジオ

オプション品

困ったときは

付録

地図を操作してみよう

■ 現在地画面を表示させる

動作中の本機の画面表示にかかわらず、NAVIボタンを押すと、現在地画面を表示することができます。

現在地画面の見かた

e スタートタイマー／ アイドリングタイマー

運転状況に合わせてメッセージが表示されます。

現在の時刻

10:02

VICSレベル3 情報提供時刻 表示

渋滞
10:05

スケール表示

下の「」がスケールの距離を示します(2D表示のみ)。

広域
100m
詳細

方位表示

赤い三角が北方向を示します。

アイドリング 00:03

ビュー

東京都 新宿区

マルチウィンドウ表示

マルチウィンドウ表示は、エコステータス、現在地情報表示、AVソース情報の3種類に表示を切り換えることができます。また、地図画面右側に拡大表示させることもできます。

自車マーク
車の位置と進行方向を表します。

軌跡表示



昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなることがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り換えを車のスマート灯のON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。

昼画面



夜画面



本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

地図の動かし方

地図を動かすには、地図上の見たい場所にタッチするか、見たい場所の方向にタッチして地図をスクロールします。

1 地図上の見たい場所にタッチする



十字カーソルと**微調整**が表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



- **微調整**は、ノーマルビューの場合のみ表示されます。
- タッチし続けると、その方面にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。

3 表示を微調整する

矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の位置をタッチしても地図が動きます。



- もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- 走行中は微調整の操作はできません。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。
- NAVI ボタンを押すと、現在地周辺の地図に戻ります。

2 微調整にタッチする



スクロール画面の見かた

スクロール中

スクロール方面表示

地図のスケールを、10m～1kmスケールにしている場合に表示されます。



スクロール停止

十字カーソル

画面の中心に表示されます。

ショートカットメニュー
(→ P50)

現在地の方向

十字カーソル位置と現在地を結んだ線。



十字カーソル位置の地名

十字カーソル位置周辺の地名を示します。

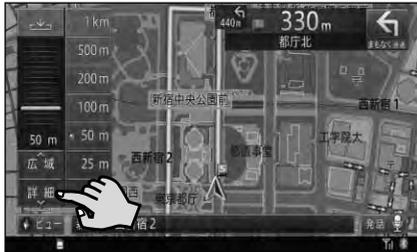
現在地から十字カーソル位置までの直線距離

地図を広域・詳細にする

10m～500kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

広域・詳細タッチキーで操作する場合

1 広域または詳細にタッチする



広域	地図をより広く見たいとき
詳細	地図をより詳しく見たいとき

スケールバーとダイレクトスケールキーが表示され、現在のスケールがわかります。**広域**または**詳細**にタッチすることにより、スケールが変わります。



- [スケールバー] にタッチすると、スケールバーとダイレクトスケールキーが消えます。
- **広域** または **詳細** にタッチし続けると、スケールは段階的に変わります (フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

ダイレクトスケールキーで操作する場合

1 広域または詳細にタッチする



2 表示したいダイレクトスケールキーにタッチする



選んだスケールで表示されます。

■ 地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図表示の向きを変更することができます。地図表示の向きは、以下の2種類あります。

ヘディングアップ ビュー	車の進行方向が常に上になるように地図が自動的に回転します。工場出荷時はヘディングアップに設定されています。
ノースアップ ビュー	北が常に上になるように表示されます。

1 ビューにタッチする



2 地図方位にタッチする



タッチすることによってヘディングアップとノースアップが切り換わります。

■ ビューモードを切り換える

地図の表示方法を、お好みに合わせて変更することができます。

ビューモードは、6種類あります。

ノーマルビュー (2D表示)	通常の地図(平面の地図)で表示されます。
スカイビュー (3D表示)	上空から見ているような地図が表示されます。
ドライバーズビュー (3D表示)	ドライバーの目線から見たような地図が表示されます。
ツインビュー (2画面表示)	画面を左右に2分割して地図が表示されます。
AVサイドビュー (2画面表示)	画面を左右に2分割して地図とAVソース画面が同時に表示されます。
ハイウェイモード	有料道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。有料道路走行時以外は選ぶことができません。

1 ビューにタッチする



2 表示方法を選んでタッチする



選んだビューモードで表示されます。

ターゲットマップを設定する

地図に表示される情報のうち、特定の情報を強調して表示することができます。各地図表示モードでお好みに応じて設定できます。

ターゲットマップは、2種類あります。

文字拡大	文字の情報を拡大表示します。
道路重視	道路に関する情報を強調します。

1 ビューにタッチする



2 お好みの設定にタッチする



選んだ設定で表示されます。



- **通常表示**にタッチすると、ターゲットマップを解除し、通常の地図表示にします。

ショートカットメニューを使ってみよう

場所を探した際に、利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして表示されます。

1 地図をスクロールするか場所を探す

2 実行したい機能を選んでタッチする



周辺施設を探す	探した場所の周辺の施設を検索することができます。
マップクリップ	現在表示している地図を2次元バーコード（QRコード）として携帯電話で読み取ることができます。
ここを登録する	探した場所を登録することができます。
ここへ行く	探した場所までのルート探索ができます。

▼
選んだショートカットメニューが実行されます。

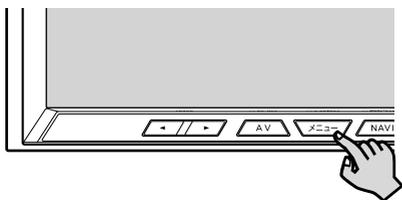


- 検索機能を使って表示させたショートカットメニューを解除するときは、**戻す**にタッチします。地図をスクロールして表示させたショートカットメニューを解除するときは、NAVI ボタンを押します。

目的地を探してルート案内してみよう

NAVI menu から目的地を探してルート案内してみましょう。
ここでは検索方法の例として「ジャンル」を使用し、「成田国際空港」を探して目的地とする方法を説明します。

1 メニューボタンを押す



2 ジャンルにタッチする

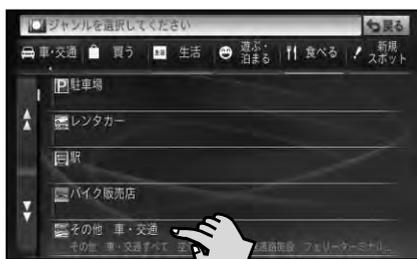


✎ ジャンルが表示されていないときは、**NAVI menu** にタッチしてください。

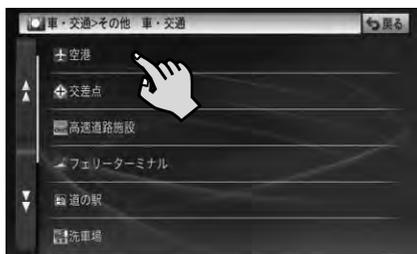
3 車・交通にタッチする



4 車・交通にタッチする



5 空港にタッチする



6 都道府県を指定して探すにタッチする



✎ ▲付近で探すにタッチすると、現在地付近の空港を探します。

次ページへつづく

7 た - 千葉県 にタッチする



8 な - 成田市 にタッチする



検索の結果、該当する施設がリストで表示されます。

9 成田国際空港(成田空港) - ここへ行く にタッチする



もう一度 **成田国際空港(成田空港)** にタッチするか、**地図** にタッチすると、画面全体が地図画面に切り換わります。選んだ施設にはカーソルが表示され、施設名称が画面下部に表示されます(アクティブインフォ)。

- ・ **情報** にタッチすると、選んだ施設の詳細情報を確認することができます。詳細情報に電話番号がある場合は、電話をかけることもできます(本機に携帯電話が接続されている場合に限り)。また、施設の候補が他にもある場合は、**前の施設** や **次の施設** にタッチして詳細情報を切り換えることもできます。

10 案内開始 にタッチするか、走行を開始する



行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示され、細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。



- ・ 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- ・ 実際の道路標識に従って走行してください。
- ・ 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

ルート案内中の画面

到着予想時刻表示

目的地または立寄り地までの進捗度が表示されます。また、タッチすることにより、表示内容を切り換えます。

- ① : 目的地の到着予想時刻と経過時間と目的地までの道のり距離
- ② : 立寄り地の到着予想時刻と経過時間と立寄り地までの道のり距離(立寄り地を指定した場合)
- ③ : 到着予想時刻と経過時間と出発時刻

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称と通過予想時刻が表示されます。矢印(例:)にタッチすることにより、最大5つ先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。(→P55)



レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは緑色(推奨レーンは白矢印)で表示されます。

方面看板表示

目的地の方向

現在地と目的地を結ぶピンク色の直線で表示されます。到着予想時刻表示を②にしている場合は、現在地と立寄り地を結ぶ直線となります。

ルート

設定したルートは、一般道は明るい緑色(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色)で表示されます。

交差点を通過すると現在地画面に戻ります。

現在地画面

交差点案内表示画面

交差点に近づくことにより、交差点案内画面に変わります。

ドライバースビュー (工場出荷時の設定*)



サイドマップ

機能設定メニュー(→P41)の「ドライバースビューサイドマップアングル」で、2Dまたは3Dでの地図表示方法を選択できます。



・交差点案内表示は「ドライバースビュー」「拡大図」「アローガイド」の3種類から選ぶことができます。

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタジオ

オプション品

困ったときは

付録

サイレントガイドについて

サイレントガイドとは、ルート案内中の音声案内と地図上の案内表示を最小限にして、目的地までのルート案内を行う機能です。

自宅周辺など道がよくわかっている付近の走行など案内割り込みが不要な場合や、ルートはわかっているが目的地や立寄地の到着（通過）予想時刻が知りたい場合などに便利です。



- 到着予想時刻は、目的地または立寄地で切り換えることができます。
- サイレントガイドの地図画面は、2D（ノーマルビュー）と3D（スカイビュー）で選ぶことができます。
- サイレントガイド中でも、別ルートへの案内（ルートアドバイザー）やオートリルート、駐車場マップやビーコン割り込み情報（VICS用ビーコンユニット接続時）の表示は行われます。
- サイレントガイド中にルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地点が音声と画面表示で案内されます。（リクエスト案内）
- カスタムボタンに「サイレントガイドをON/OFFする」機能を割り当てて切り換えることもできます。
- 機能設定メニュー（→P39）の「オートサイレントガイド」をONに設定すると、自動的にサイレントガイドでルート案内を開始します。

オートリルートについて

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。



- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。

ルートアドバイザーについて

新しいルートが見つかったと、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートを表示します（ルートアドバイザー）。



新ルート 新ルートで案内します。

元ルート 元ルートで案内します。

ルート案内中の操作

次の案内地を確認する (リクエスト案内)

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地の音声案内が行われ、次の案内地の地図が表示されます。

1 現在地画面でルートインフォメーションの矢印にタッチする



- 本操作を繰り返すごとに、最大5カ所先の案内地まで順に表示させることができます。
- 交差点案内表示をアローガイドに設定している場合は、次の案内地点部分にタッチして確認することもできます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICISの渋滞・規制情報は自動的に音声で案内します（渋滞オートガイド）。



- VICIS 情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、“およそ3km先、1kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”などと案内されます。

手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を確認することができます（渋滞チェック）。

1 現在地画面で渋滞にタッチする



渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。



次ページへつづく

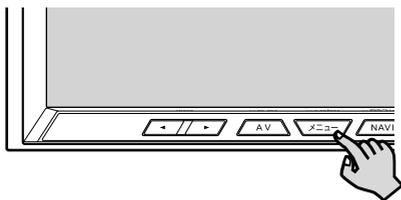


- 本操作を繰り返すごとに、5カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます。
- 案内中のルートがない場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、**渋滞**に長くタッチすると、オンデマンドVICSやスマートループ渋滞情報を取得することができます。^{*}(→P70)
※別途、登録や設定が必要です。

ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

1 メニューボタンを押す



2 ルート-消去にタッチする



3 はいにタッチする



案内中のルートが消去されます。



- 情報メニュー(→P38)の**ルート情報**、または設定・編集メニュー(→P39)の**ルート編集**から操作することもできます。
- 消去したルートは復活できません。

音楽や映像を楽しもう

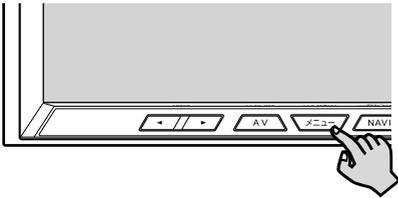
CD、ミュージックサーバー、DTV、DVD などの音源や映像のことを AV ソースと呼びます。

AV ソースを切り換える



・ 接続していない機器や設定されていない AV ソースは選べません。

1 メニューボタンを押す



2 AV menu にタッチする



3 AV ソースを選んでタッチする



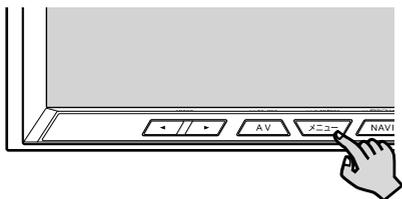
▼
選んだ AV ソースの画面 (AV ソース画面) に切り換わります。

AV ソースについて

DISC (CD)	音楽 CD を再生することができません。
DISC (ROM)	楽曲や映像を記録した CD-R/RW/DVD-R/RW を再生することができます。
DISC (DVD)	DVD-Video や DVD-VR を再生することができます。
MSV (ミュージックサーバー)	録音した音楽 CD や付属の BeatJam を使って CD からリッピングした音楽データ、パソコン内の楽曲データを SD カード経由で本機へ転送して再生することができます。
FM/AM	ラジオを受信して聞くことができます。
DTV (地上デジタル TV)	地上デジタルテレビ放送を受信して見るすることができます。
SD	挿入された SD カード内に保存された音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。
Bluetooth Audio	本機と Bluetooth Audio 機器をワイヤレスで接続して、本機の AV ソースとして楽しむことができます。
iPod	本機に接続した iPod を操作することができます。接続には別売の iPod 用 USB 変換ケーブル「CD-IUV51M」が必要です。
USB	接続された USB メモリー内に保存された音楽ファイルを再生できます。
AUX (外部機器)	本機に接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生することができます。
交通情報	幹線道路などで放送されている AM の交通情報を受信して聞くことができます。

■ AVソースをOFFにする

1 メニューボタンを押す



2 AV OFF にタッチする



AV ソースが OFF になります。



- AV ボタンを長く押し、AV ソースを OFF にすることもできます。

■ AVソースを操作する

基本的なAVソースの操作方法について、CDを聴く場合を例に説明します。



- 選んだ AVソースによって、操作方法や表示されるタッチキーは異なります。
- あらかじめ再生したい CD を挿入してください。(→ P27)

タッチキーで操作する

通常再生画面



タイムバー

リスト	リスト画面を表示します。
	コントロールパネル画面を表示します。
タイムバー	タッチした位置から再生します。

リスト画面



リスト項目	タッチした曲を再生します。
	リストを1画面ずつ上下に移動します。



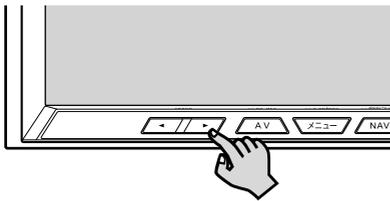
- 未録音の CD を挿入した場合は、自動的に本機への録音を開始され、リスト操作はできません。(録音に関する設定は、ソース別設定(→ P59) で変更することができます。)

コントロールパネル画面



リポート、ランダム	タッチすることにより、特殊再生を行います。
録音開始	MSVへの録音を開始します。
再生/一時停止	再生中は一時停止し、一時停止中は再生を再開します。
早戻し/早送り	早戻し/早送りをを行います。

本体のボタンで操作する

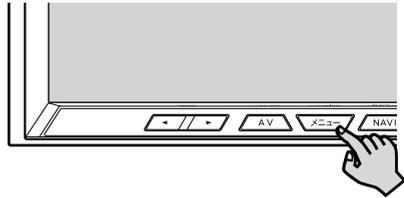


左右ボタン	トラックのアップ/ダウン(選曲)を行います。
左右ボタン(長く押す)	早戻し/早送りをを行います。

ソース別設定を行う

ソース別設定とは、オーディオや映像に関する設定を行うためのメニューです。

1 メニューボタンを押す



2 設定・編集にタッチする



3 ソース別設定にタッチする



次ページへつづく

お使いに
前に

基本
操作

ナビ
ゲージ
ション

オーディ
オ

スマー
トル
ープ

音声
操作

ハンズ
フリー

ナビ
スタ
ジオ

オフ
シ
ョン
品

困
った
とき
は

付
録

4 設定したい機能を選んでタッチする



DISC設定	DVD-Video、DVD-VR、ROM-Video に関する字幕や音声、映像出力などの設定を行うことができます。
DTV設定	地上デジタルテレビ放送に関する視聴設定や環境設定、視聴者設定クリアなどを行うことができます。
MSV設定	SDカードからMSVへの楽曲取り込みや、録音設定、タイトル情報の取得、フィーリングプレイの設定、MSVプローブ情報*の作成などを行うことができます。
iPod設定	本機に接続したiPodの音声入力に関する設定を行うことができます。
SD設定	SDカード内の楽曲自動取り込みの設定や、映像ファイルの出力設定などを行うことができます。
AUX設定	本機に接続した外部機器(AUX)の入力設定を行うことができます。

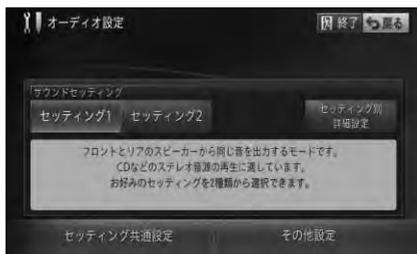
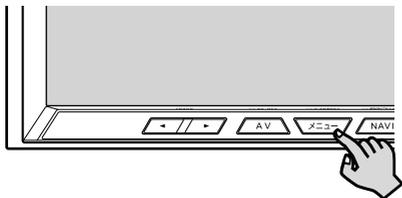


*「MSV プローブ情報」とは、お客様のMSV再生・追加・編集・削除履歴や収録曲情報、学習履歴のことです。作成されたMSVプローブ情報はSDカードに保存されます。

オーディオ設定を試みよう

再生中の音源にあわせて設定を変更したり、音質をお好みに合わせて調整することができます。

1 メニューボタンを押す



2 設定・編集にタッチする



3 オーディオ設定にタッチする



セッティング1 セッティング1として保存されたお好みの調整値に切り換えます。

セッティング2 セッティング2として保存されたお好みの調整値に切り換えます。

セッティング共通設定 2つのセッティングパターンに対し、設定値が共通で反映される設定項目を表示します。

セッティング別詳細設定 選んだセッティングパターンごとに設定値が保存される設定項目を表示します。

その他設定 デジタルアッテネーター（イコライザーカーブの調整などで生じる音のゆがみを補正する機能）を利用することができます。



・セッティング1またはセッティング2どちらかの内容をコピーして、新しいセッティングを作成することもできます。

オーディオ設定の設定項目一覧

設定項目	工場出荷時
フェーダー／バランス 前後左右の音量バランスを調整することができます。	0 / 0
グラフィックイコライザー あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整した設定（Custom）からイコライザーカーブを選ぶことができます。	Flat
ソースレベルアジャスター AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。	± 0
サウンドフィールドコントロール 車室内にリアルな音場を再現することができ、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。	OFF サウンドレトリバーがONの場合は設定できません。
サウンドレトリバー MSV、SD、USB、iPod、ROM-Audioなどの圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまうため、デジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補完して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生することができます。 ※地上デジタルテレビ、FM、AM、交通情報受信中の場合、およびドルビーデジタル音声の場合には効果が得られません。	OFF サウンドフィールドコントロールがONの場合は設定できません。
ダイナミックレンジコントロール 一番大きな音と一番小さな音との幅を圧縮することで、音量を下げたて楽しむ場合に小さな音も聞き取りやすくすることができます。	OFF
ASL 走行速度に応じて音量をリアルタイムで自動補正し、快適な聴き心地を保ちます。 ※車速信号入力線を接続している際に機能します。	OFF
リスニングポジション 乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。	OFF
スピーカー設定 スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。	フロント : LARGE リア : LARGE サブウーファー : OFF
カットオフ 複数のスピーカーを接続している場合、それぞれのスピーカーから出力される周波数帯域を設定することができます。	スピーカー設定の設定値により異なります。
タイムアライメント 各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整することができます。	リスニングポジションの設定値により異なります。
スピーカー出力設定 各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。	リスニングポジションの設定値により異なります。

再生できるファイルとメディアの種類

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生することができます。

	コーデック	拡張子	対応メディア			
			 CD-R/RW	 DVD-R/RW	 USBメモリー	 SDカード
	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	—	—	○	○
	MPEG-4	.avi	○	○	—	○
		.mp4/.m4v	—	—	—	○
	H.264	.mp4/.m4v	—	—	—	○
	WMV	.wmv	—	—	—	○

○：対応 —：非対応



- ・雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けしないでください。
- ・DRM(デジタル著作権管理) 付きのファイルの再生には対応しておりません。
- ・WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

音声コーデックについて

対応しているサンプリング周波数、ビットレート、量子化ビット数は以下のとおりです。

対応音声コーデック一覧

		WMA	MP3	AAC	WAV
サンプリング周波数		8 kHz～48 kHz	8 kHz～48 kHz	8 kHz～48 kHz	16 kHz～48 kHz
ビットレート	CBR	5 kbps～320 kbps	8 kbps～320 kbps	8 kbps～320 kbps	—
	VBR	48 kbps～192 kbps	8 kbps～320 kbps	8 kbps～320 kbps	
量子化ビット数		16	16	16	16



- ・エンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・エンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- ・本機では、Windows Media Player Ver. 7/8/9を使用してエンコードした WMAファイルを再生することができます。
- ・下記形式には対応していません。
 - ・Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - ・Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・Windows Media Audio 9 Voice

次ページへつづく

- ひとつのMP3ファイルの中に、異なるバージョン(v1, v2)のID3タグ情報が存在する場合は、v2のタグ情報を優先に表示します。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i(MP3 interactive)フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- 本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

映像コーデックについて

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下のとおりです。

対応映像コーデック一覧

	MPEG-4 Video	H.264/AVC	WMV (VC-1)
プロファイル	Advanced Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度(ピクセル) @ 最大フレームレート	720×480@30fps	720×480@30fps	720×480@30fps
最大ビットレート (平均値/ピーク値) ^{*1}	4Mbps/8Mbps	2Mbps/4Mbps	384Kbps/-

※1 再生可/不可は、平均ビットレートで判断します。



- 作成したアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは以下のとおりです。

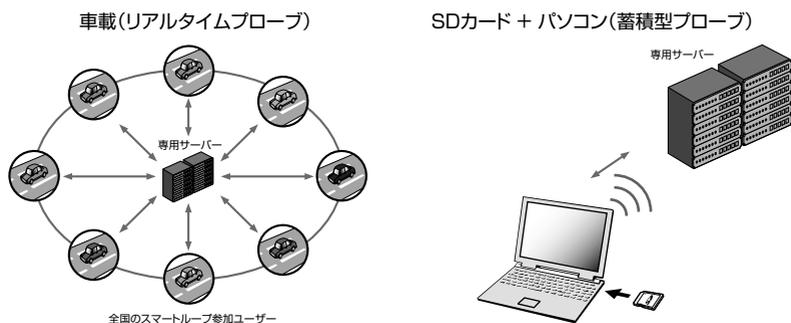
		映像ファイルフォーマット		
		AVI (.avi)	MP4 (.mp4/.m4v)	ASF (.wmv)
音声コーデック	None	○	○	○
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—
	AC3	○	—	—
映像コーデック	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV (VC-1)	—	—	○

○: 対応 —: 非対応

スマートループを利用してみよう

「スマートループ」とは、ご利用登録していただいたお客様からご提供いただく走行履歴データや地点データ、オートパーキングメモリーデータなどを専用サーバーで蓄積管理し、カロッツェリア独自のデータを加えてスマートループ参加ユーザーへ配信する情報共有システムです。

スマートループの利用方法は、車載でのご利用と、SDカードとナビスタジオをインストールしたパソコンを組み合わせてのご利用の2通りがあります。(蓄積型プローブ、スマートループドットログ、スマートループドライブレポート、スマートループミュージックレポートなど)



スマートループ渋滞情報を利用するために必要なこと

スマートループ渋滞情報を利用するためには、次の4つのステップで登録や設定を行います。

① お客様登録(無料)をする (→P21)

※ マイセットアップ (→P14) で「スマートループお試し登録」を行っていただいた場合は、お客様登録(無料)をしなくてもスマートループ渋滞情報を期間限定で体験していただくことができます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用される場合や、本機の全機能をお使いになる場合は、お客様登録(無料)を行ってください。

② 通信機器を準備する (→P65)

③ 携帯電話を登録する (→P66)

※ 通信モジュールをお使いの場合は、不要です。

④ スマートループ設定をする (→P67)

通信機器を準備する

携帯電話をお使いの場合

Bluetooth対応の携帯電話をご用意ください。なお、Bluetooth対応の携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。「本機と接続可能な通信機器について」(→P11) をご覧になり、事前に確認してください。

データ通信専用通信モジュール「ND-DC1」(別売)をお使いの場合

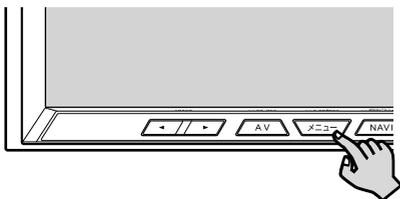
USBケーブルを使って本機と接続します。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」をご購入ください。なお、他のUSB機器やiPodと同時使用をお考えの場合は、「CD-U120」を2本ご購入ください。

携帯電話を登録する

通信に使う携帯電話を本機に登録します。あらかじめお使いになる携帯電話のBluetooth機能をONにしてください。

携帯電話に関する操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 メニューボタンを押す



2 設定・編集にタッチする



3 システム設定にタッチする



4 Bluetooth設定にタッチする



5 機器登録にタッチする



周辺のBluetooth機器を検索してリスト表示します。

6 登録したい携帯電話名が表示されたらタッチする





- ・検索は約 20 秒間行われます。検索を開始して 20 秒経過後に Bluetooth 機能を ON にした機器などがある場合は、**再検索** にタッチすると検索し直します。
- ・お使いの携帯電話によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する** にタッチして、Bluetooth 機器の登録メニューから登録してください。

7 携帯電話を操作してパスキーを入力する



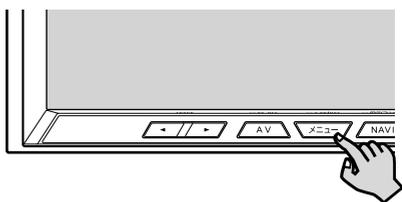
以上で、携帯電話の登録は完了です。

■スマートループ設定をする

初期登録、プローブ情報送信、SDカード保存設定、プローブ情報受信の設定を行います。

プローブ情報とは、車両を通じて収集される位置・時刻・路面状況などのデータです。スマートループでは、より正確な渋滞情報を得るために、お客様からプローブ情報をご提供いただいております。

1 メニューボタンを押す



2 設定・編集にタッチする



3 スマートループ設定にタッチする



次ページへつづく

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

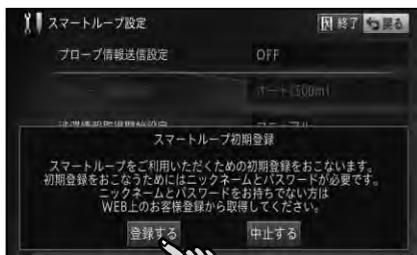
ナビスタシオ

オプション品

困ったときは

付録

4 スマートループ初期登録一 登録するにタッチする



専用サーバーに接続されます。



- 回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。**はい**にタッチしてください。
- 通信機能で「お客様登録」を行っている場合、または「スマートループお試し登録」を行っている場合は、手順4～6は行わず、手順7に進んでください。

5 初期登録 (WEB でのお客 様登録がお済みの方はこ ちら) にタッチする



- WEB でのお客様登録 (→ P24) がお済みでない場合は、**お客様登録 (お客様登録がお済みでない方はこちら)**にタッチしてお客様登録を行ってください。お客様登録完了後、手順7に進んでください。(お客様登録は無料)

6 ニックネームとパスワード を入力し、決定にタッチ する



- ニックネームとパスワードは、お客様登録時に設定されたものを入力します。お客様登録 (無料) がお済みでない場合は、先にお客様登録を行い (→ P21)、ニックネームとパスワードを取得してください。

7 プローブ情報送信設定に タッチする



8 ON にタッチする

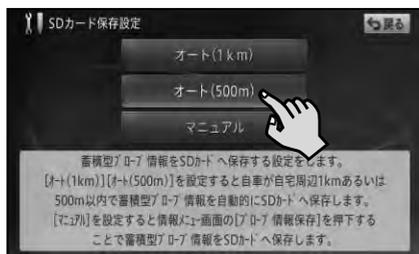


- OFF のままでは、プローブ情報の送信を行わないため、スマートループは利用できません。
- ON から OFF に変更すると、本機に保存されているプローブ情報の消去確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合は**はい**、キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。

9 SDカード保存設定にタッチ する



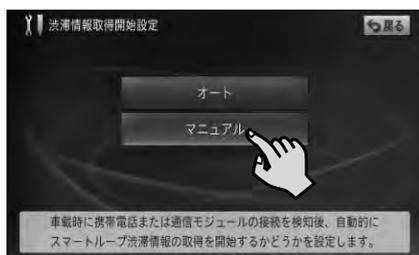
10 蓄積型プローブ情報をSDカードに保存するタイミングを選んでタッチする



11 渋滞情報取得開始設定にタッチする



12 オートまたはマニュアルにタッチする

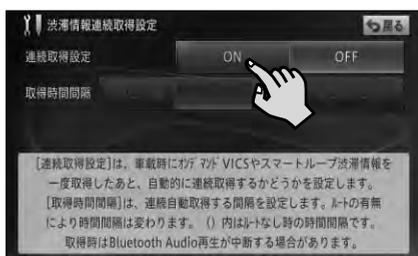


- マニュアルに設定された場合は、以下の方法で情報を取得してください。
 - 地図画面の **渋滞** に長くタッチする
 - 渋滞情報メニュー (→ P38) の **情報取得** にタッチする

13 渋滞情報連続取得設定にタッチする



14 ON または OFF にタッチする



- ON に設定すると、通信費および接続料金発生に関するメッセージが表示されます。通信費および接続料金はお客様負担となります。承諾される場合は **はい** にタッチしてください。
- ON に設定された場合は、続けて取得時間間隔も設定してください。

以上で、スマートループ設定は完了です。

スマートループ渋滞情報の取得のしかた

1 地図画面で渋滞に長くタッチする



スマートループ渋滞情報を取得します。

スマートループ渋滞情報取得画面について

取得したスマートループ渋滞情報は、破線で表示され、実線で表示されるVICS情報とは区別して表示されます。詳しくは「地図記号一覧」(→P131)をご覧ください。

一般道への表示

渋滞	赤色の破線 (白い縁取り)
混雑	橙色の破線 (白い縁取り)
順調	空色の破線 (白い縁取り)

有料道路への表示

渋滞	赤色の破線 (青い縁取り)
混雑	橙色の破線 (青い縁取り)
順調	空色の破線 (青い縁取り)



情報提供時刻表示

橙色	情報受信後 5 分未満の状態
青色	情報受信後 5 分以上 30 分未満の状態



・スマートループ渋滞情報が正しく取得できている場合は、情報提供時刻表示が「S 〇〇:〇〇」と表示されます。「O 〇〇:〇〇」と表示されている場合は、オンデマンドVICS情報しか取得されていません。スマートループ設定などを再確認してください。

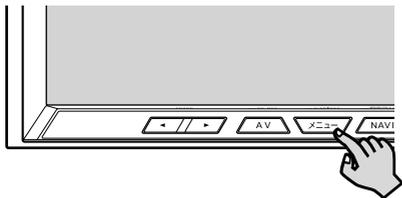
音声操作をしてみよう

付属の音声認識用マイクを使って、本機の操作を音声で行うことができます。

音声操作の設定をする

音声操作を行いやすいように、お好みに合わせて設定を行うことができます。

1 メニューボタンを押す



2 設定・編集にタッチする



3 システム設定にタッチする



4 音声認識設定にタッチする



ボイスコマンドサーチ

発話された言葉から本機が認識した音声認識語とその音声認識語に近い言葉をリスト表示するかどうか設定できます。

ON	ボイスコマンドサーチを使用します。
OFF	ボイスコマンドサーチを使用しません。

ボイスヘルプ

音声認識語を発話する際、発話可能な音声認識語の一覧を自動または手動で表示するかどうか設定できます。

オート	自動的にボイスヘルプの一覧を表示します。
マニュアル	「ボイスヘルプ」と発話した場合のみ、ボイスヘルプの一覧を表示します。

次ページへつづく

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタナビ

オプション品

困ったときは

付録

音声認識話者学習

本機が学習した音声操作時の発声の特徴を、音声認識に使用するかしないか設定できます。

ON	学習した発声の特徴を、音声認識に使用します。
OFF	学習した発声の特徴を、音声認識に使用しません。

音声操作をする

- 発話を正しく認識させるため、以下の点にご注意ください。自動車の窓は閉めておく／エアコンの風量を下げる／はっきりと明瞭に発話する／音声認識語を正しく発話する／音声案内中は発話しない。

1 発話にタッチする**2 音声認識用マイクに向かって音声認識語を発話する**

- 操作を中止したいときは「ちゅうしする」と発話すると音声操作を中止します。
- 発話可能な音声認識語は、『ユーザーズガイド (→ P5)』 - 「音声で操作する」でご確認ください。

3 ボイスコマンドサーチのリストから、発話した音声認識語を選んでタッチする

選んだ機能が実行されます。



- ボイスコマンドサーチ動作中は、**発話**にタッチしてから約 30 秒間であれば何度でも言い直しができます。

ハンズフリーをしてみよう

Bluetooth 接続された携帯電話と付属の音声認識マイクを使って、ハンズフリー通話をすることができます。



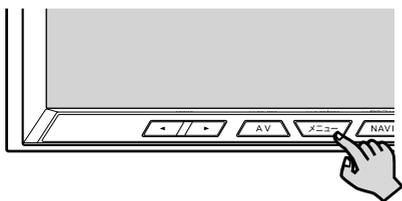
- Bluetooth 対応の携帯電話をご用意ください。なお、Bluetooth 対応の携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。「本機と接続可能な通信機器について」(→P10) をご覧になり、事前に確認してください。

携帯電話を登録する

ハンズフリーに使う携帯電話を本機に登録します。あらかじめお使いになる携帯電話のBluetooth機能をONにしてください。

携帯電話に関する操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 メニューボタンを押す



2 設定・編集にタッチする



3 システム設定にタッチする



4 Bluetooth設定にタッチする



5 機器登録にタッチする



周辺の Bluetooth 機器を検索してリスト表示します。

次ページへつづく

6 登録したい携帯電話名が表示されたらタッチする



- 検索は約 20 秒間行われます。検索を開始して 20 秒経過後に Bluetooth 機能を ON にした機器などがある場合は、**再検索**にタッチすると検索し直します。
- お使いの携帯電話によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する**にタッチして、Bluetooth 機器の登録メニューから登録してください。

7 携帯電話を操作して、本機の画面に表示されているパスキーと同じ数字を入力する

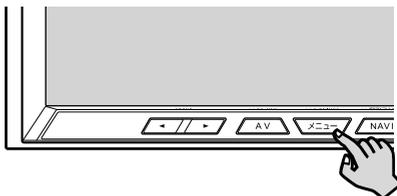


以上で、携帯電話の登録は完了です。

ハンズフリーをする

電話のかけかた

1 メニューボタンを押す



2 携帯電話にタッチする



3 発信方法を選んでタッチする



ダイヤル発信	数字入力画面が表示されます。発信先の電話番号を入力して 発信 にタッチします。
メモリダイヤル	あらかじめ本機に読み込んだ携帯電話のメモリダイヤルリストを表示します。発信相手を選んでタッチし、ポップアップメニューから 発信 にタッチします。
発信履歴	本機からの操作で発信した相手、または本機と接続中に着信した相手をリスト表示します。発信相手を選んでタッチします。



- 携帯電話本体を操作して発信することもできます。
- メモリダイヤルの読み込みや、その他のメニューについては、『ユーザーズガイド(→P5)』-「携帯電話を使う」をご覧ください。



+	受話音量を調整できます。
電話を切る	電話を切ることができます。
ハンズフリー OFF	ハンズフリーを終了し、携帯電話本体での通話に切り換えます。
閉じる	通話中メニューを閉じることができます。



- 受話音量の調整は、ナビゲーションの音量調整メニューで行うこともできます。→「ナビゲーションの音量を調整する」(P33)

電話の受けかた

1 電話を着信したら、通話にタッチする



通話が可能になり、通話中メニューが表示されます。

ナビスタジオを使ってみよう

付属 CD-ROM に収録されたパソコンリンクソフト「ナビスタジオ」を使用して、パソコンで作成したルートや地点の情報、音楽データなどを SD カード経由で本機へ転送することができます。



- ・ナビスタジオの全機能をご利用いただくには、お客様登録（→P21）が必要です。
 - ・ナビスタジオを使用して全データ更新を行う場合には、16GB以上のSDカードが必要です。
 - ※ 8GBのSDカードを2枚使用することでも、全データ更新は可能です。
 - ※ SDXC (exFAT ファイルシステム) は非対応です。
- お使いいただいているパソコンがSDHCカードに対応していない場合には、SDHCカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。

動作環境について

下記の条件を満たしているパソコンにセットアップし、利用することができます。

OS	Windows XP Home/ Professional SP3 以降	Windows Vista Ultimate/ Business/Home Premium/ Home Basic SP2 以降 ※ 32bit 日本語 OS のみ (64bit 版には対応しておりません)	Windows 7 Ultimate/ Professional/Home Premium SP1 以降 ※ いずれも日本語版のみ対応 64bit 版 Windows では、32 ビット互換モード (WOW64) で動作します。
メモリ	512MB 以上	1GB 以上	
CPU	Intel Pentium® III 600MHz 以上	Intel Pentium® III 800MHz 以上	Intel Pentium® III 1GHz 以上
ハードディスク	100MB 以上の空き容量 (地図データ更新時には約 16GB の空き容量が必要です。)		
ディスプレイ	解像度 1024x768・発色数 16 ビット (65536 色) 以上		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・インストール時に付属 CD-ROM を使用するため、CD-ROM ドライブが必要です。 ・インストール時、使用時ともにシステム管理者 (Administrator) 権限が必要です。 ・初回ご利用時はナビゲーションにて SD カードの初期登録を行なって頂く必要があります。 ・SDHC カードを認識できる環境が必要です。お使いのパソコンが SDHC カードに対応していない場合は、市販の USB カードリーダーなどをご使用ください。 		
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の条件を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。 ・Macintosh 版は非対応です。 ・OS のアップグレード環境での動作は保証していません。 ・マルチブート環境での動作は保証していません。 ・お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。 ・他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。 ・パソコンの環境によっては、SD カードが認識できなかったり一部機能がご利用頂けないなどの不具合が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接的または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重大過失がない限り、当社および販売店などはその責任を負いません。 ・パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン購入元の各メーカー、または販売店にお願いします。 		

ナビスタジオのセットアップについて

付属CD-ROMをパソコンにセットし、表示される内容に従ってセットアップを行ってください。インターネット接続ができないパソコンの場合、セットアップができませんのでご注意ください。



- ・ナビスタジオの詳しいセットアップ方法は、『セットアップマニュアル』をご覧ください。『セットアップマニュアル』は、下記 URL にアクセスしてダウンロードしてください。

<http://pioneer.jp/car/navistudio/>

SDカードを本機に登録する

本機とパソコン間でのデータ転送などは、SDカードを使って行います。使用できるSDカードは、本機に登録されたSDカードのみとなります。

1 本機にSDカードを挿入する (→P29)

本機をご購入後はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



挿入したSDカードが、ナビスタジオ用として本機に登録されます。



• **いいえ** にタッチした場合は、登録が行われず、ナビスタジオ用としてお使いになることはできません。

3 確認にタッチする

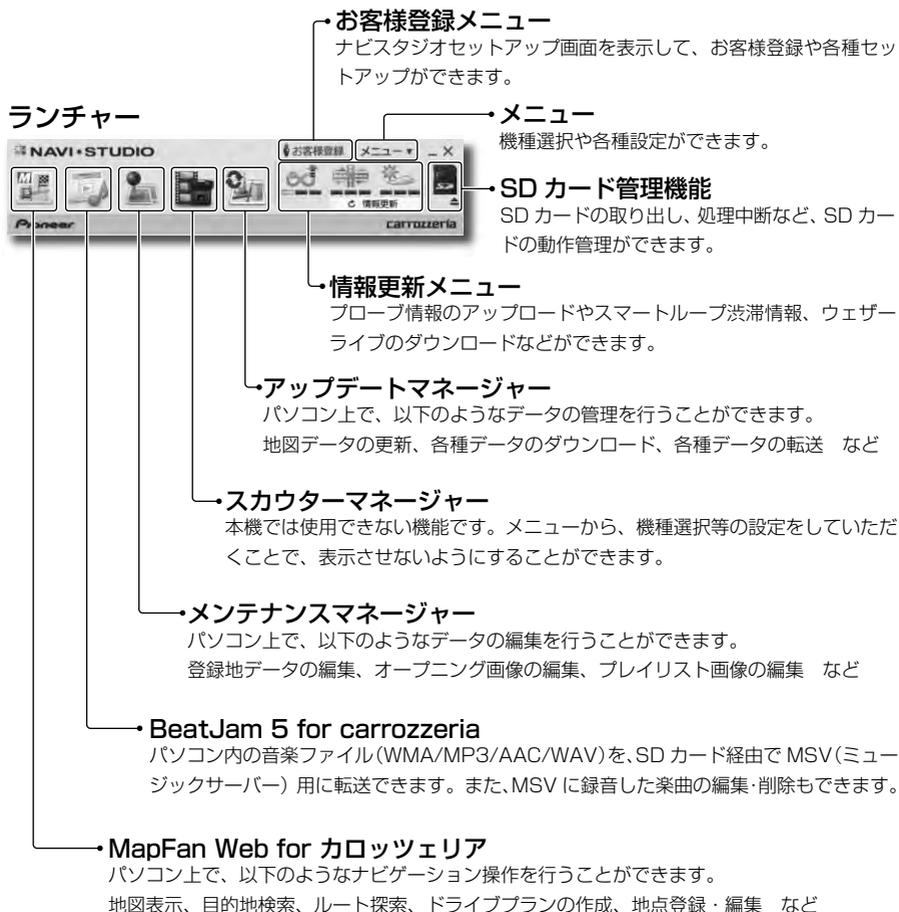


- SDカード登録確認メッセージは、一度登録が完了したあとは別のSDカードを挿入しても表示されません。はじめに登録したSDカードを別のものに変更したい場合は、システム設定メニュー (→P39) の「[その他設定] - 「SDカード登録確認メッセージ表示」をONに設定してください。
- あらかじめ、SDカードの書き込み防止を解除してください。(→P105)

■ ナビスタジオを使ってできること

ナビスタジオを起動するとランチャーが表示され、それぞれクリックすると各アプリケーションが起動して操作することができます。

各機能に関する詳しい説明は、ナビスタジオのオンラインヘルプをご覧ください。



オプション品を使って本機をより楽しもう

本機には、下記のオプション類が組み合わせられます。



- 下記の型番は代表例です。車種や条件によって組み合わせできない場合もあります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

ETCユニット

別売のETCユニット「ND-ETC6」などを接続すると、有料道路の料金所をノンストップで通過できます。また、ETCカードの有効期限について音声でアナウンスしたり、ETCカードに記録されている利用履歴、ETCユニットの車載器管理番号を本機の画面で確認することができます。

DSRCユニット

別売のDSRCユニット「ND-DSRC2」を接続すると、上記ETC機能に加え、分かりやすく画像や音声を用いて情報内容を拡充した「5.8GHz VICSサービス」や、「DSRC情報接続サービス」（地域観光情報など）、さらには将来、駐車場などにおける「DSRC料金決済サービス」などのDSRC応用サービスの利用が見込まれています。

VICS用ビーコンユニット

別売のVICS用ビーコンユニット「ND-B6」などを接続すると、電波ビーコン（2.4GHz帯）および光ビーコンからのVICS情報を受信することができます。

iPod用USB変換ケーブル（AV用）

別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」および別売のiPod用USB変換ケーブル（AV用）「CD-IUV51M」を使って、本機にiPodを接続することができます。



- iPod用USB変換ケーブル使用中は、外部機器（AUX）はお使いいただけません。また、他のUSB機器を同時にお使いになる場合は、別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」を2本ご購入ください。詳しくは『取付説明書』-「システムの接続」をご覧ください。

データ通信専用通信モジュール

別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」を使って、別売のデータ通信専用通信モジュール「ND-DC1」を接続すると、専用サーバーへの接続に限り定額制サービスでご利用いただけます。データ通信専用通信モジュールのご購入代金には、最大約3年間分（ご使用開始日から当月末までの日数分+35ヶ月間分）の通信費および接続料金が含まれています。3年間経過後、継続して通信機能をご使用になる場合には別途手続きが必要です。



- 電話としての機能はありませんのでご注意ください。
- 他のUSB機器を同時にお使いになる場合は、別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」を2本ご購入ください。詳しくは『取付説明書』-「システムの接続」をご覧ください。

リアモニター

別売の液晶TVモニター「TVM-Wシリーズ」を接続すると、走行中でも後席の同乗者はDVD-VideoやTVなどを楽しむことができます。



- 本機にリアモニターを接続した場合は、リアモニター出力設定が必要です。⇒『取付説明書』-「リアモニター出力設定を行う」

専用バック/フロントカメラユニット

別売の専用バック/フロントカメラユニット「ND-BFC200」を接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。また、映像処理による多彩な映像表示も可能です。



- 本機は、フロントカメラには対応しておりません。

汎用バックカメラユニット

別売のRCA出力の汎用バックカメラユニット「ND-BC5」などを接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。



- 本機に汎用のバックカメラを接続する場合は、別売のカメラ端子変換コネクタ「RD-C100」が必要です。
- 汎用バックカメラユニットは、後方の映像を表示するだけです。駐車アシスト線などの表示機能はありません。
- 本機に汎用のバックカメラを接続した場合は、カメラ設定の入力をONにする必要があります。⇒「取付説明書」－「カメラ設定を行う」

ステアリングリモコンアダプター

別売のステアリングリモコンアダプターを接続すると、純正ステアリングリモコン（装備車のみ）を使って本機の一部の操作をハンドルを握ったまま行うことができます。

- トヨタ車/ダイハツ車用：「KK-Y101ST」
- ホンダ車用：「KK-H101ST」
- マツダ車用：「KK-T101ST」
- スズキ車用：「KK-S101ST」
- スバル車用：「KK-F101ST/KK-F102ST」



- 車によってはお使いいただけない場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは「保証書とアフターサービス」(→P108)をお読みにになり修理を依頼してください。

共通項目

電源が入らない、動作しない。

原因	処置
エンジンがかかっていない。	エンジンまたはACCをONにしてください。
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。
接続ケーブルが正しく接続されていない。	取付説明書をよく読み接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
周囲の温度が極度に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲(−10℃～+50℃)があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。

画面に何も表示されない。

原因	処置
ナビスタンバイ状態になっている。	画面にタッチして、ナビスタンバイを解除してください。

画質調整ができない。

原因	処置
パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。

画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。

原因	処置
液晶特有の現象で、故障ではありません。	—

画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。

原因	処置
周囲の温度が極端に低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。

バッテリー交換後、本機を起動したらパスワード入力画面になっている。

原因	処置
セキュリティロックが動作している。	設定したパスワードを入力して、ロックを解除してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「セキュリティロックを使う」

タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。

原因	処置
走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーである。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーである。	付属の取扱説明書またはユーザズガイド(→P5)で設定や接続状態を確認してください。

Bluetoothを使って携帯電話と接続できない。

原因	処置
Bluetooth機器登録をしていない。	接続したい携帯電話を本機に機器登録してください。→ 「携帯電話を登録する」(P66)
接続していた携帯電話を別の携帯電話に変えた。	変えた携帯電話を本機に登録するか、登録済みの携帯電話に変えた場合は携帯電話の切り換え操作を行ってください。

ナビゲーション

自転車位置を測位できない。

原因	処置
GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。

測位誤差が大きい。

原因	処置
3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。⇒『ユーザーズガイド (→P5)』 - 「センサーメモリーのリセットについて」

自転車位置が正しくない。

原因	処置
自転車位置がずれている。	GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自転車位置が修正されます。
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面で、接続を確認してください。→『取付説明書』

走行を開始しても地図が動かない。

原因	処置
現在地画面を表示していない。	NAVIボタンを押して、現在地画面にしてください。

地図の向きが変わらない (自転車マークが上でない方向に向かう)。

原因	処置
地図の向きがノースアップになっている。	地図の向きをヘディングアップに変更してください。→「地図の向きを変える」(P48)

ナビゲーションの案内音量が出ない。

原因	処置
ナビゲーションの音量設定が0になっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。→「ナビゲーションの音量を調整する」(P33)

地図上に VICS 情報が表示されない。

原因	処置
受信したVICS情報が表示されるまで数分かかることがある。	表示されるまで、お待ちください。
VICSの受信感度が良くない。	放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。⇒『ユーザーズガイド (→P5)』 - 「渋滞情報を利用する」

ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる。

原因	処置
通話相手側の声（スピーカーからの音声）がマイクに入り込んでいる。	エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できることがあります。ただし、本機のしくみ上、完全に響き（エコー）をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

お使いになる前

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタジオ

オプション品

困ったときは

付録

オーディオ共通項目

走行中、テレビや DVD などの映像が見れない。

原因	処置
パーキングブレーキコードを接続していない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。本機は、安全のため走行中にテレビやDVDなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になれる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。

音が出ない。

原因	処置
オーディオの音量が0になっている。	音量調整 (-/+) ボタンを押して、音量を調整してください。→「オーディオの音量を調整する」(P34)

音声案内時やハンズフリー通話の着信、音声操作時に、一時的にオーディオの音が途切れたり、聞こえづらくなる。

原因	処置
消音設定がされている。	消音するタイミングや消音レベルを調整してください。⇒『ユーザーズガイド (→P5)』 - 「ナビゲーションの補正・調整をする」

前／後／左／右のスピーカーから音が出ない。

原因	処置
前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。⇒『ユーザーズガイド (→P5)』 - 「オーディオ設定のしかた」

映像がギザギザに表示される。

原因	処置
ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタシオ

オプション品

困ったときは

付録

FM/AM

ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。

原因	処置
放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「ラジオを聞く」
周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。

自動選局できない。

原因	処置
強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「ラジオを聞く」

FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。

原因	処置
アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください。⇒『取付説明書』
自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。

再生できない

原因	処置
本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「再生できるディスクの種類」
ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。

ディスクを入れても自動的に再生しない。

原因	処置
ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合がある。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「DVDビデオを見る」

音が出ない。

原因	処置
静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。

視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。

原因	処置
視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「DVDビデオを見る」

音声言語、字幕言語が切り換えられない。

原因	処置
複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクメニューで切り換えてください。

初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。

原因	処置
初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。

アングルを切り換えて見ることができない。

原因	処置
複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
複数のアングルが収録されていない場面	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。

原因	処置
ディスクコピー禁止信号が入っている。 (ディスクによって入っている場合がある。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出る場合があります (故障ではありません)。

⊙(禁止マーク)が画面に出て操作できない。

原因	処置
ディスクが禁止している操作である。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。

画面が止まり、操作を受け付けない。

原因	処置
ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

CD-R や CD-RW、CD-ROM を再生できない。

原因	処置
ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。

WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。

原因	処置
WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。

WMA/MP3/AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る。

原因	処置
ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください（WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください）。

聴きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。

原因	処置
WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。

フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。

原因	処置
ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。

WMA/MP3/AAC ファイル再生が、記録した順と異なる。

原因	処置
WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合がある。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

MSV (ミュージックサーバー)

SDカードに保存した楽曲データが転送できない。

原因	処置
BeatJam以外のツールで楽曲データをSDカードに保存して本機に転送した。	BeatJam以外のツールでは、楽曲データを転送できません。BeatJamから、楽曲データをSDカード保存して転送を行ってください。

SDカードから転送した楽曲データがフィーリングプレイで再生できない。

原因	処置
BeatJamで曲調解析されていないファイルを送った。	BeatJamで曲調解析を行ってから転送してください。

CDが録音されていない。

原因	処置
CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』 - 『音楽用CDを録音する』

録音したCDが「CD-日付時刻」で表示されている。

原因	処置
タイトルが複数候補あったかタイトル情報が本機に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』 - 『タイトル情報を取得する』

地上デジタルテレビ

画面が止まっている。
画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。
画面に正方形のノイズが映る。

原因	処置
受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。

受信できない。
「受信できません」というメッセージが表示される。
「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される。

原因	処置
チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外したとき、「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。→「テレビを見るための準備をしよう」(P17)
移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局(チャンネル)に切り換えてみてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「TVを見る(地上デジタルテレビ放送)」
放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→「テレビを見るための準備をしよう」(P17)
受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。画面に「@ワンセグ切り換え可マーク」が表示されているときは、ワンセグ放送に切り換えることができます。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「TVを見る(地上デジタルテレビ放送)」
車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタルテレビ用アンテナを使用してください。

メッセージが表示され、視聴ができない。

原因	処置
miniB-CASカードを挿入していない。	miniB-CASカードを挿入してください。→「テレビを見るための準備をしよう」(P17)
miniB-CASカードの表裏を間違えて挿入している。	miniB-CASカードを正しい向きで挿入してください。→「テレビを見るための準備をしよう」(P17)
本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 ・ワンセグのデータ放送 対応している放送に切り換えてください。

データ放送画面に切り換えられない。
映像切換、音声切換、字幕切換、音声多重のタッチキーが薄く表示されていて、切り換えられない。

原因	処置
受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。

画質が悪くなった。

原因	処置
ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、サービス切換にタッチします。⇒『ユーザズガイド(→P5)』-「TVを見る(地上デジタルテレビ放送)」

SD/USB

WMA/MP3/AAC/WAV ファイルを再生できない。

原因	処置
WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。

聴きたいWMA/MP3/AAC/WAV ファイルが見つからない。

原因	処置
WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。

SD カードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。

原因	処置
走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。

SDカードに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。

原因	処置
地図データ(差分情報のみ)の更新中である。	地図データ(差分情報)更新中は、AVソース(SDのみ)がOFFになります。地図データ(差分情報のみ)の更新完了後、再度AVソース(SD)を選択し、再生を再開してください。

お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。

原因	処置
SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。(2010年12月時点記載) URL : http://www.sdcard.org/jp/consumers/formatter/

iPod

接続できない。

原因	処置
iPod用接続ケーブル（別売）が正しく接続されていない。	取付説明書をよく読み、接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
お使いのiPodに本機が対応していない。	対応iPodについては、カロツェリアホームページ (http://carrozzeria.jp) でご確認ください。

ビデオが再生できない。

原因	処置
接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。	ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になりません。
接続したiPodとの認証に失敗した。	再度、接続して認証を行ってください。

ビデオの映像と音声がずれる。

原因	処置
何らかの原因により、iPodのビデオ再生時に映像と音声がずれている。	iPod、iPhoneのビデオを再生した際に、映像と音声が気になる場合は一旦、iPod、iPhoneを外した状態で、ソース別設定のiPod設定の音声入力設定をデジタルからアナログに変更してお使いください。

ビデオ再生時、音声が再生されない。

原因	処置
接続しているiPodが、ビデオ再生時のデジタル音声出力に対応していない。	ソース別設定のiPod設定の音声入力設定をデジタルからアナログに変更してお使いください。

Bluetooth Audio

再生できない。

原因	処置
Bluetooth機器登録をしていない。	Bluetooth Audioをお使いになるには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。→「携帯電話を登録する」(P66)
登録したBluetooth機器の設定がハンズフリー電話機能のみを使用する設定になっている。	Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「通信接続設定をする」

リピートやランダム再生ができない。

原因	処置
Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver1.0以下である。	プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「通信接続設定をする」

リアモニター

リアモニターを接続したのに、リアモニターに映像が映らない。

原因	処置
リアモニターの出力設定を行っていない。	リアモニター出力設定をONにしてください。⇒『取付説明書』

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
このSDカードは本機では使用できません。	本機で使用できないSDカードを挿入した。	本機は以下のSDカードに対応しています。 最大容量 32GB、ファイルシステム FAT 32/16、SDHC対応
走行中は操作できません。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
ロック解除に失敗しました。	パスワードが間違っている可能性があります。	パスワードを再確認して、もう一度操作してください。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
探索できませんでした。 付近にルート探索対象道路がありません。 行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。 行き先が近すぎるため、探索できませんでした。 通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。 行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。 行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
日時データがないため、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。	GPS衛星からの電波が受信できていない。	本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいています。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「ナビゲーションのしくみ」
自転車位置修正できませんでした。	自転車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。	周囲に自転車位置修正可能な道路(一般道路と有料道路が並行しているような道路)を走行時に操作してください。

渋滞情報

メッセージ	原因	処置
スマートループ渋滞情報が取得できませんでした。	スマートループ渋滞情報を取得できていない。	時間や場所をずらしてから、再度受信してください。

通信

メッセージ	原因	処置
回線の接続に失敗しました。	何らかの原因で回線接続に失敗している。	しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。
サーバーへの接続に失敗しました。	何らかの原因により通信接続を切断(タイムアウト)した。	
データ通信タイムアウトが発生しました。		
データ通信エラーが発生しました。		
通信機器が接続されていません。	携帯電話または通信モジュールが接続されていない。	携帯電話または通信モジュールを接続してください。
通信機器が使用できません。	接続中の通信機器が故障している可能性がある。	他の通信機能が利用可能かお試しください。他の通信機能も利用できない場合は、通信機器を変更するか、修理してください。

Bluetooth

メッセージ	原因	処置
携帯電話が接続されていません。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
携帯電話との接続に失敗しました。	何らかの原因により携帯電話との接続が失敗している。	
携帯電話が使用できません。	接続中の携帯電話がDUNに非対応または、携帯電話を待ち受け画面にしないとDUN通信が利用できない機種可能性がある。	接続中の携帯電話のDUN対応状況をお調べいただくか、携帯電話を待ち受け画面にしてください。
現在接続はできません。	接続しようとしているBluetooth機器が、データ通信中である。	データ通信終了後、再度操作してください。
現在削除はできません。	使用中のBluetooth機器を削除しようとした。	Bluetooth機器の使用を中止してから、削除してください。

SDカード

メッセージ	原因	処置
このSDカードは本機では使用できません。	SDカードが正しくフォーマットされていません。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: http://www.sdcard.org/jp/consumers/formatter/ (2010年12月時点記載)

携帯電話

メッセージ	原因	処置
読み込みができませんでした。接続を確認してもう一度やり直してください。	メールアドレスや電話番号が登録されているメモリアイタルが存在しない。	携帯電話のメモリアイタルを確認してください。

オーディオ

音楽ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはバイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のディスクなど、録音可能なディスクに交換してください。
録音再生エラーが発生しました。CDの通常再生に切り換えます。 録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。	何らかの原因で録音ができないうとき。 録音曲数が上限（トラック20 000曲まで）に達している。	ディスクに汚れやキズ・そりがなければ確認してください。 録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド（→P5）』-「プレイリストやトラックを編集する」
プレイリスト数が上限に達しているため、これ以上録音できません。	CDから録音したプレイリストの数が999個に達している。	CDから録音したプレイリストは999個までしか作成できません。聴かなくなったプレイリストなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド（→P5）』-「プレイリストやトラックを編集する」
録音中は再生できません。	CD録音中にコントロールパネルを操作しようとした。	録音中はコントロールパネルの操作ができません。録音が終了するのを待つか、録音を中止してから切り換えてください。⇒『ユーザーズガイド（→P5）』-「録音を停止する」
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド（→P5）』-「再生できるディスクの種類」
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクのタイトル面を上にして、セットしてください。
	ディスクの表裏が逆になっている。	
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド（→P5）』-「再生できるディスクの種類」

映像ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。 改善されない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は“2”です。 ディスクのパッケージなどでリージョンコード“2”を含むディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「再生できるディスクの種類」
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「再生できるディスクの種類」
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクの表裏が逆になっている。
	ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクのタイトル面を上にして、セットしてください。
再生できません。ディスクを取り出してください。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「再生できるディスクの種類」

MSV (ミュージックサーバー)

メッセージ	原因	処置
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「プレイリストやトラックを編集する」
プレイリスト数が上限に達しているため、これ以上録音できません。	プレイリストの数が999個に達している。	プレイリストは999個までしか作成できません。聴かなくなったプレイリストなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「プレイリストやトラックを編集する」
SDカード容量不足のため、保存できません。	SDカードの残容量が足りないため、保存できない。	十分な空き容量のあるSDカードを使用してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-「HDD・SDカード情報を確認する」

次ページへつづく

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタシオ

オプション品

困ったときは

付録

メッセージ	原因	処置
データの保存に失敗しました。	低温のため、HDDにデータが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
	データの保存が、まだ終了していないのにSDカードを抜いた。	データの保存が終了するまでSDカードを抜かないでください。
録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。	録音曲数が上限（トラック20 000曲まで）に達している。	録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド（→P5）』-「プレイリストやトラックを編集する」
この画像には対応できません。	本機が対応していない画像形式を選んだ。 ファイル名が長すぎるまたは特殊コードを使ったファイル名になっている。	ナビスタジオのメンテナンスマネージャー（→P78）を使って、適切な画像ファイルを作成してください。
楽曲取り込み中は操作できません。	楽曲取込み中に、プローブ情報を作成しようとした。	楽曲取り込み終了後、操作してください。
楽曲データを読み込みできませんでした。	楽曲データが壊れている可能性があります。	BeatJam上にて転送用の楽曲データを作成し直してください。
	低温のため、HDDにデータが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
	楽曲データ読み込みが、まだ終了していないのにSDカードを抜いた。	楽曲データの転送が終了するまでSDカードを抜かないでください。
MSVプローブ情報の作成に失敗しました。	低温のため、HDDにデータが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。

iPod

メッセージ	原因	処置
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPodの間の認証が失敗した可能性がある。	エンジンスイッチをOFF/ONし、一度 iPod を本機から取り外し、iPod が問題なく動作していることを確認してから再接続してください。
コントロール/アプリモードに対応していません。	接続したiPodがコントロール/アプリモードに対応していない。	コントロール/アプリモードに対応した機種で、接続してください。

地上デジタルテレビ

メッセージ	原因	処置
DTVで高温を検出しました。保護のため停止中です。	内部温度が高くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-『TVを見る(地上デジタルテレビ放送)』
同時時間帯に既に予約が設定されています。	他の番組を予約した時間帯に別の番組を予約しようとしている。	同じ時間帯に重複して予約することはできません。
これ以上予約を設定できません。不要な予約を消去してください。	可能予約数を超える予約を行おうとしている。	予約可能数は100件までです。必要が無くなった予約などを消去してください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-『TVを見る(地上デジタルテレビ放送)』
アンテナ接続エラーの可能性があります。	地上デジタルTVのアンテナに不具合がある。	地上デジタルTVのアンテナ接続が正しく行われているか確認してください。

Bluetooth Audio

メッセージ	原因	処置
接続対象機器が未設定のため、操作できません。	Bluetooth機器を登録していない。	接続対象機器を切り換えるか、Bluetooth Audioの機器登録を行ってください。⇒『ユーザーズガイド(→P5)』-『Bluetooth Audioを使う』
AV機器との接続に失敗しました。	Bluetooth機器が「電源オフ」、「Bluetooth機能をオフにしている」、「持ち忘れ」などの可能性があります。	Bluetooth機器の「電源」、「Bluetooth機能のオン」、「持ち込み」を確認してください。

SD/USB

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。	本機で再生できないファイル形式のデータを再生しようとしている。	本機で再生可能なファイル形式のデータで再生してください。→『再生できるファイルとメディアの種類』(P63)

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタジオ

オフショーン品

困ったときは

付録

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→「仕様」(P109)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。



- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

LED バックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ沖縄サービス認定店)にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- むれたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 下記マークのついたディスクをご使用ください。
DVD-Video



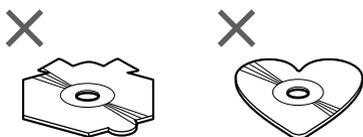
CD



- ひび、キズ、そのりのあるディスクは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。



- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけないでください。
 - － ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - － 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。



- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。
- 再生できるディスクの種類やファイル形式などについては「再生できるファイルとメディアの種類」(→P63) および「ユーザーズガイド(→P5)」-「再生できるディスクの種類」をご覧ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

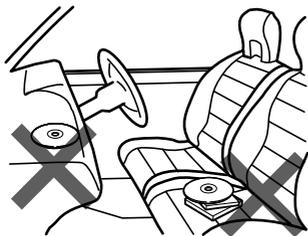


- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

miniB-CASカードの正しい使いかた

miniB-CASカードの取り扱いについて

miniB-CASカードは必要なとき以外は抜かないでください。

- － 必要がないのに抜き差しすると故障の原因になります。
- － miniB-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないように注意してください。
- － 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意してください。



- 直射日光の当たるところや高温になるところには、miniB-CASカードを保管しないでください。
- 磁石の近くやテレビの上など、磁気のあるところに置いたままにしないでください。

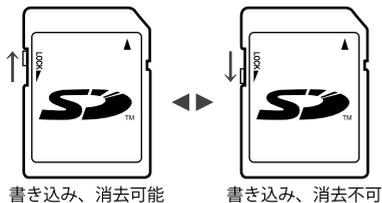
SDカードの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。

データの保護について

- バックアップされていない大切なデータなどが保存されているときは、ライトプロテクト（書き込み防止）スイッチをスライドしてLOCKしてください。



USB機器に関するご注意

取り扱い上のご注意

- USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

接続上のご注意

- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作ったUSBメモリーは使用できません。
- 使用するUSB機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲や映像を正しく再生できない場合があります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。
- USBメモリー以外（USB扇風機など）は接続しないでください。

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

音声操作

ハンズフリー

ナビスタジオ

オプション品

困ったときは

付録

iPod に関するご注意

取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

著作権について

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解/ 改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - * 無線LAN を利用したAV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声かとぎれたり、無線LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - * 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - * 自動ドア・万引き防止システム（書店やCD ショップなど）
 - * 自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器やVICS（道路交通網システム）
 - * アマチュア無線局など



2.4 FH 1
① ② ③

- ① 「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」 変調方式を表します。
- ③ 「1」 想定される与干渉距離（約 10m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「サービス窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

◆共通部

使用電圧：DC14.4V
(10.8V ~ 15.1V 使用可能)
最大消費電流：10A
アース方式：マイナスアース方式
使用温度範囲：-10℃ ~ + 60℃

◆GPS 部

受信方式：
12チャンネルマルチチャンネル受信方式

◆オーディオ部

最大出力：50W × 4
負荷インピーダンス：4 Ω
(4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)

プリアウト最大出力レベル：2.2V
13バンドグラフィックイコライザー：

周波数：50/80/125/200/315/
500/800/1.25k/2k/3.15k/
5k/8k/12.5k[Hz]

調整幅：±12dB (2dB/step)

スピーカーセッティング：

調整幅：-24dB ~ +10dB (1dB/step)

カットオフ周波数：

ハイパスフィルター：
50/63/80/100/125/160/200[Hz]
ローパスフィルター (サブウーファー)：
50/63/80/100/125/160/200[Hz]

カットオフスロープ：

フロント、リア：
-6/-12/-18dB/oct.
サブウーファー：
0/-6/-12/-18dB/oct.

サブウーファー位相：

NORMAL/REVERSE

タイムアライメント：0cm ~ 500cm
(2.5cm/step)

デコーダー：リア PCM、
ドルビーデジタル、
MPEG-2 AAC

◆外部入出力

映像入出力レベル (リアモニター OUT)：
1.0Vpp ± 10% (signal: White 100%)
外部音声最大入力レベル (AUX)：
2.0Vrms 以下

◆DVD プレーヤー部

リージョン No.：2

対応メディア：

DVD (VIDEO MODE、VR MODE)、
DVD-R (DL)、DVD-RW、CD-ROM、
CD-DA、CD-R/RW

デコーディングフォーマット：

MP3：MPEG-1, 2, 2.5 AUDIO LAYER-3
WMA：Ver.7, 8, 9 (2ch audio)
AAC：MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以
前の iTunes でエンコードされたも
ののみ)
AVI：MPEG-4 Video + MP3、
MPEG-4 Video + AC3

周波数特性：

(DVD 値)：16Hz ~ 22 000Hz (±1dB)
(CD 値)：20Hz ~ 20 000Hz (+0.1/
- 1.0dB)

S/N：

(DVD 値)：100dB (1kHz) (IHF-A ネットワーク)
(CD 値)：100dB (1kHz) (IHF-A ネットワーク)

ダイナミックレンジ：

(DVD 値)：97dB (1kHz)
(CD 値)：94dB (1kHz)

高調波歪率：0.009% (1kHz)

◆FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0MHz ~ 90.0MHz
音声：ステレオ

◆AM チューナー部

受信周波数帯域：522kHz ~ 1 629kHz (9kHz)
音声：モノラル

◆地上デジタル TV チューナー部

放送方式：地上デジタル放送方式
受信チャンネル：470MHz ~ 770MHz
(UHF13ch ~ 62ch)

◆モニター部

画面サイズ：7V 型ワイド VGA
画素数：1 152 000 画素
[水平 800 × 垂直 480 × 3 (RGB)]
方式：TFT アクティブマトリクス方式
バックライト：LED 光源

◆地上デジタル TV 用フィルムアンテナ

使用電源：DC8V
出力端子：4 系統 (専用プラグ)

◆SDカード部

フォーマット：Ver.2.0

最大メモリ容量：32GB

ファイルシステム：FAT16/FAT32

デコーディングフォーマット：

MP3：MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3

WMA：Ver.7,8,9 (2ch audio)

AAC：MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以前のiTunesでエンコードされたもののみ)

MPEG4(MP4)：MPEG-4 Video + AAC、
H.264/AVC + AACAVI：MPEG-4 Video + MP3、
MPEG-4 Video + AC3

WMV：WMV (VC-1) + WMA

シグナルフォーマット：

WAV：LPCM

◆USB部

対応メディア：USB2.0 High Speed

最大電流：1A

最大メモリ容量：16GB

ファイルシステム：FAT16/FAT32

デコーディングフォーマット：

MP3：MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3

WMA：Ver.7,8,9 (2ch audio)

AAC：MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以前のiTunesでエンコードされたもののみ)

シグナルフォーマット：

WAV：LPCM

USB CLASS：MSC

(MASS STORAGE CLASS)

◆Bluetooth部

Bluetoothバージョン：Bluetooth2.1+EDR

出力：最大 +4dBm (Power class2)

◆外形寸法

本体取付寸法：

178 (W) × 100 (H) × 167 (D) mm

本体ノーズ寸法：

171 (W) × 97 (H) × 18 (D) mm

GPSアンテナ：

33 (W) × 36 (H) × 14 (D) mm

地上デジタルTV(12セグ用)フィルムアンテナ：

118 (W) × 86 (H) × 0.4 (D) mm

◆質量

本体：2.6kg

◆付属品

GPSアンテナ：1※¹

地上デジタルTV(12セグ用)

フィルムアンテナ：一式※²

miniB-CASカード：1

音声認識用マイク：1

取付キット：一式※¹コード類：一式※¹

取扱説明書：1

取付説明書：1

NAVI*STUDIO

セットアップディスク：1

BeatJam5 for carrozzeria

セットアップガイド：1

(NAVI*STUDIOセットアップディスク包装に封入)

安全上のご注意：1

サービス窓口のご案内：1

保証書：1

お客様登録カード：1

※¹ 接続・取り付け部品の詳細につきましては
ては、『取付説明書』をご覧ください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表 視聴料金

視聴料金：315円（うち消費税15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

概要

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

特許及び商標

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ: copyright ©2000-2011 Gracenote. Gracenote Software, copyright ©2000-2011 Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote, CDDDB, MusicID, MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

Ja EULA 8-10-2009

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリビル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものと

します。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サービスにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないかによる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2011

Gracenote データについて

- 本機内蔵の Gracenote データ、専用サーバーの Gracenote データとともに、データの内容を 100%保証するものではありません。
- 専用サーバーの Gracenote データは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 専用サーバーによる Gracenote データの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

商標・著作権など

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



- ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD 記号はドルビーラポラトリーズの商標です。



- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel®、Pentium®、Celeron® は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- MP3 とは [MPEG Audio Layer 3] の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。* 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

- iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPod は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。



- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- Gracenote® および CDDDB は グレースノート社の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはグレースノート社の商標です。



- FOMA/ フォーマは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。
- cdmaOne は CDG (CDMA Development Group) の登録商標です。
- VICS は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者パイオニア株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマークおよびトレードネームは各所有者のもです。



-  は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。



- 「マップクリップ」はインクリメント P (株) の登録商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- 「BeatJam」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。



- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- Entier (エンティア) は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。
 - 最終需要家は、特定の 1 台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
 - 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であると問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
 - 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。

- 最終需要家は、第 1 項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。
- 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとします。
 - 輸出するとき。
 - 海外へ持ち出すとき。
 - 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
 - 前 3 号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注 1：上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第 5 条第 3 項及び第 4 項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第 6 条第 2 項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

注 2：第 6 条第 1 項第 3 号又は同条第 2 項第 2 号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。

- フォトリモおよびフォトリモ@ナビはシャープ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音 (録画) したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPS の測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

- 本製品は、GNU Lesser General Public License および Mozilla Public License の条件にもとづいて利用が許諾されたソフトウェアを含んでいます。正確な内容を保持するため、原文（英語）を記載しています。該当するソースコードの複製物は以下の URL からダウンロードできます。
<http://www.oss-pioneer.com/car/navi>
なお、ソースコードの内容についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

• GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

This product includes the following software licensed for use under the terms of GNU

Lesser General Public License v2.1.

- WebCore Copyright (C) 2003 Apple Computer, Inc. Licensed under LGPLv2.1.

- JavaScriptCore Copyright (C) 1999-2000 Harri Porten (porten@kde.org)

Copyright (C) 2006, 2007 Apple Inc. All rights reserved.

Copyright (C) 2009 Google Inc. All rights reserved. Licensed under LGPLv2.1.

You can get corresponding open source code here.

<http://www.oss-pioneer.com/car/navi>

NO WARRANTY

BECAUSE THE ABOVE PROGRAMS ARE LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAMS, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING, THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAMS "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAMS IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAMS PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAMS AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL

DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAMS (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAMS TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Please refer to each license for further information (<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.1.html>, and <http://www.mozilla.org/MPL/>).

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given

copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

- c)** Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d)** If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e)** Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a)** Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b)** Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this

License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent

application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING,

BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the

implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

- **NSPR**

Version: MPL 1.1/GPL 2.0/LGPL 2.1

The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is the Netscape Portable Runtime (NSPR).

The Initial Developer of the Original Code is Netscape Communications Corporation.
Portions created by the Initial Developer are Copyright (C) 1998-2000 the Initial Developer. All Rights Reserved.

Contributor(s):

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of either the GNU General Public License

Version 2 or later (the "GPL"), or the GNU Lesser General Public License Version 2.1 or later (the "LGPL"), in which case the provisions of the GPL or the LGPL are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of either the GPL or the LGPL, and not to allow others to use your version of this file under the terms of the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the GPL or the LGPL. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under the terms of any one of the MPL, the GPL or the LGPL.

- **skia**

Copyright (C) 2006 The Android Open Source Project

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

- **bsdiff**

Copyright 2003-2005 Colin Percival
All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,

THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- **curl**

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2010, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

- **FreeType**

Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>)

- **icu**

ICU License - ICU 1.8.1 and later

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1995-2010 International Business Machines Corporation and others

All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

All trademarks and registered trademarks mentioned herein are the property of their respective owners.

- **Unicode Data Files**

UNICODE, INC. LICENSE AGREEMENT - DATA FILES AND SOFTWARE

Unicode Data Files include all data files under the directories
<http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and
<http://www.unicode.org/cldr/data/>. Unicode Software includes any source code published in the Unicode Standard or under the directories
<http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and
<http://www.unicode.org/cldr/data/>.

NOTICE TO USER: Carefully read the following legal agreement. BY DOWNLOADING, INSTALLING, COPYING OR OTHERWISE USING UNICODE INC.'S DATA FILES ("DATA FILES"), AND/OR SOFTWARE ("SOFTWARE"), YOU UNEQUIVOCALLY ACCEPT, AND AGREE TO BE BOUND BY, ALL OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE, DO NOT DOWNLOAD, INSTALL, COPY, DISTRIBUTE OR USE THE DATA FILES OR SOFTWARE.

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (C) 1991-2009 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR

HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

- **libjpeg**

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

- **libpng**

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.43, February 25, 2010, are

Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are

Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
 Eric S. Raymond
 Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are

Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
 Glenn Randers-Pehrson
 Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
 Kevin Bracey
 Sam Bushell
 Magnus Holmgren
 Greg Roelofs

Tom Tanner
 libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are
 Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
 Dave Martindale
 Guy Eric Schalnat
 Paul Schmidt
 Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental,

special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg" (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.
 Glenn Randers-Pehrson glennrp at users.sourceforge.net February 25, 2010

• **libmng**

Copyright (c) 2000,2001 Gerard Juyn
 For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Gerard Juyn

The MNG Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the MNG

Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the MNG and JNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment would be highly appreciated.

Remarks :

Parts of this software have been adapted from the libpng library. Although this library supports all features from the PNG specification (as MNG descends from it) it does not require the libpng library. It does require the zlib library and optionally the IJG JPEG library, and/or the "little-cms" library by Marti Maria Saguer (depending on the inclusion of support for JNG and Full-Color-Management respectively.

This library's function is primarily to read and display MNG animations. It is not meant as a full-featured image-editing component! It does however offer creation and editing functionality at the chunk level. (future modifications may include some more support for creation and or editing)

- **libxm2**

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the

Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

hash.c: chained hash tables

Reference: Your favorite introductory book on algorithms

Copyright (C) 2000 Bjorn Reese and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: breese@users.sourceforge.net

list.c: lists handling implementation

Copyright (C) 2000 Gary Pennington and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby

granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: Gary.Pennington@uk.sun.com trio files

trio files

Copyright (C) 1998 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

• **OpenSSL**

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR

CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

- **Webkit and chromium**

Copyright (C) 2009 Google Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR

TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

• Simple EcmaScript Engine

LICENCE

The SEE library source is released under what is commonly called a "BSD-style" licence:

Copyright (c) 2003, 2004, 2005, 2006, 2007
David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of David Leonard nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The separate 'dtoa.c' file is separately licenced, thus:

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

• glib

The GLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

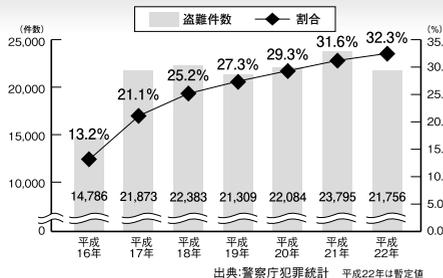
カーナビゲーションを購入された皆様に伝えたいことがあります

今カーナビが危ない!

全国で24分に1台のカーナビが盗難被害に遭っています。

カーナビゲーションの盗難被害状況

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合

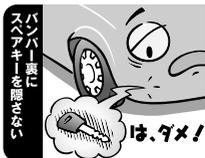


製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。



製造番号が記載された保証書類は大切に保管し、ハガキまたはWEBでユーザー登録を行きましょう。

盗難被害に遭わないように、防犯対策に気を付けましょう。



問い合わせ先 ユーザー登録に関するお問い合わせは、お買い上げになられた製品のメーカーにお問い合わせください。

警察庁・社団法人電子情報技術産業協会・社団法人日本損害保険協会

記号・マーク一覧

地図関連

- 高速・有料道
- 国道
- 主要地方道
- 都道府県道
- 一般道
- ロードクリエイター作成道路
- 細街路
- 鉄道
- 県境
- 国道番号
- 県道番号
- 有料道道路番号
- 一方通行
- 海・川・湖沼
- 公園・緑地・芝生など
- 施設敷地
- 施設
- 駅舎
- インターチェンジ/ランプ名
- 交差点名
- ランプ入口
- ランプ出口
- 信号機
- 指示点
- 山岳
- 公園
- 工場
- トンネル出入口
- マンション
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- 料金所・スマートICゲート
- 駐車場
- ボトルネック踏切
- 開かずの踏切
- 道の駅
- 空港
- ヘリポート
- フェリー乗り場
- 観光船乗り場
- タワー
- 灯台
- 墓地
- 公共施設
- 警察署
- 消防署
- 病院
- 郵便局
- NTT
- 高校
- 小学校
- 中学校
- 大学
- 高専
- 自動車関連施設
- 温泉
- 遊園地・その他
- 乗馬クラブ
- キャンプ場
- ボウリング場
- スポーツ施設
- ゴルフ場
- その他スポーツ施設
- 野球場・スタジアム
- 体育館
- スキー場
- 海水浴場
- ヨットハーバー
- モータースポーツ
- テニスコート
- 美術館、博物館
- 動物園
- 植物園
- 水族館

ホール・劇場

- 神社
- 寺
- 教会
- 城
- 牧場
- 競馬場
- デパート
- DIYショップ
- ホテル

駐車場マップ

- エレベータ
- 料金所
- 入り口
- 出口
- トイレ
- 上り
- 下り
- 柱

検索・ルート関連

- 有料道路施設の誘導ポイント
- 目的地
- 立寄地
- 出発地
- 案内地
- 案内地(ロードクリエイター)
- 案内中ルート(有料道)
- 案内中ルート(一般道)
- 案内中ルート(細街路)
- 案内中ルート(ロードクリエイター)

駐車場入口案内ポイント

- オートパーキングメモリー
- 地図収録案内ポイント
- プローブ案内ポイント
- タウンロードした案内ポイント

渋滞情報関連

- 渋滞
- 混雑
- 順調
- 規制区間
- 入口閉鎖・通行止
- 速度規制
- 進入禁止
- 通行止め・閉鎖
- 大型通行止め
- 対面通行
- 片側交互通行
- 徐行
- 車線規制
- チェーン規制
- 凍結
- 故障車
- 工事
- 作業
- 事故
- 障害物・路上障害
- 入口制限
- 入口閉鎖
- 駐車場(空車)
- 駐車場(混雑)
- 駐車場(満車)
- 駐車場(閉鎖)
- 駐車場(不明)
- 気象
- 区間旅行時間
- 行事
- 災害
- 火災
- 原因/事象なし

一般道：白枠
 有料道：青枠
 ※スマートループ
 渋滞情報：破線

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。
 ※実際の色と異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる フリーコール および フリーコールは、携帯電話・PHSなどからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話: **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101** FAX: **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

●カーナビゲーションのネットワーク接続(携帯電話、Bluetooth接続は除く)

電話: **0120-702-383** 【一般電話】 **044-572-8070** FAX: **044-572-8103**

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **0120-817-088**

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口(沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100** FAX: **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付ております

沖縄サービス認定店(沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: 【一般電話】 **098-987-1120** FAX: **098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107** FAX: **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.044B

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2011

< KFWFF > < 11C00001 > < CRA4451-B >